

市立函館博物館

研 究 紀 要

第22号

2012

序

このたび『市立函館博物館研究紀要』第22号を刊行する運びとなりました。

本号は、市立函館博物館保科智治学芸員の館蔵「酒谷家資料」の紹介を掲載いたしました。

酒谷家資料は、昭和30年代に市立函館博物館に寄贈された、明治から昭和年間の函館の商家に残された書翰や書類などの資料です。明治25年から昭和18年までの総数1,909点にのぼるこれらの資料の中に、北前船経営に関する書類や家族からの近況報告を記した手紙など多種多様なものがあり、経済活動が活況期にあった函館を知る上での貴重な歴史資料となっています。

多岐にわたるこれらの資料は、市立函館博物館で開催してきている「古文書調査講座」の参加者によって、平成13年度から平成18年度にかけて書き下し等の整理作業が行われたものです。博物館活動の重要な役割を担う、資料の収集、整理、調査、研究という地道な業務の積み上げにより、地域の歴史の掘り起こしが出来た事例として高く評価されるものと思われまます。

終わりに、これらの研究論文等が、今後、幅広く利用、活用されることを期待いたしますとともに、関係各位におかれましては、当館に対しまして忌憚のないご意見・ご提言をいただくようお願い申し上げます。

平成24年 3月 31日

市立函館博物館長
田原 良信

————— 目 次 —————

序

館蔵「酒谷家資料」の紹介

保科 智治・・・・・・・・・・ 1

「酒谷家資料」リスト・・・・・・・・・・ 8

＜資料紹介＞

館蔵「酒谷家資料」の紹介

保科 智治

・資料整理の概要

ここに紹介する資料は、昭和30年代に当館に寄贈された資料群である。(資料番号500073) 資料は小さな行李状の箱に、紐で束ねられたハガキや書翰の束と、束ねられていない状態の書類、厚手の帳簿類とが入られていた。資料整理にあたり、束ねられていたものはそれをほどいて基本的には1点ずつ資料封筒に収納した。資料封筒へ収納の際には、束に番号を付しておきその番号を封筒に記載し、束の状態を復元できるようにした。いつの時点で誰が束ねたものかは不明であるが、概ね年代ごとになっているものと、事項ごとになっているようである。

整理の結果1,409件1,909点となった。資料の作成年代は明治25年から昭和18年までだが、明治40年代から大正年間のものが大多数を占める。数点であるが酒谷家とは関係ないと思われる資料が含まれる。また、後述するが別の酒谷家の資料も含まれている。

資料整理は、平成12年度から当館で開催している「古文書調査講座」の参加者により平成13年度から平成18年度にかけておこなった。参加者は末尾に記した。整理作業と同時に書翰類の書き下し作業を行い850点余の書き下しがおこなわれ、データとして活用できるように入力作業もおこなった。整理作業の段階および終了後に、この資料整理から興味を得たことについて、2名の方が3つの論文を当館の研究紀要に発表された。(山口精次「酒谷小三郎の画業」『市立函館博物館研究紀要』第15号 2005

駒井麗子「扱扱漁業と駒井漁場」『研究紀要』第17号 2007 山口精次「橋立出身 忠谷・田端家の函館に於ける商業活動」『研究紀要』第20号 2010) 整理作業および解読作業をおこなっていく段階で、多くの登場人物がでてくるためその把握のために参加者の方が詳細な相関図を作成してくれたため、人物比定の際に非常に参考となった。

・酒谷家について

当該資料はかつて市内西浜町(現弁天町)に商店を構えていたワチガイ酒谷家に残されていたものである。資料を寄贈された方は現在市内に住んでおり、酒谷家のことや商店のことなどを聞き取り調査した。資料を整理し、聞き取りを進めていくうちに当該資料はワチガイ酒谷家の資料ではなく、直接の姻戚関係はないが同郷の出身者であるチガイヤマサ酒谷家の資料であることが明らかとなった。両酒谷家の出身は石川県加賀市の橋立で、加賀市教育委員会に問い合わせたところ、加賀市にはチガイヤマチヨウ酒谷家が存在し、その住宅は市の指定文化財となっている。三者の関係は、チガイヤマチヨウ酒谷家が本家筋にあたり、チガイヤマサ酒谷家、ワチガイ酒谷家はチガイヤマチヨウ酒谷家が所有する廻船の船頭を務めていたようである。チガイヤマサ酒谷家はチガイヤマチヨウ酒谷家と姻戚関係を結んでいくが、屋号にもみられるようにワチガイ酒谷家は特に姻戚関係にはなくチガイヤマチヨウ酒谷家から独立していく。(但し後にワチガイ酒谷家の五代目酒谷小

三郎がチガイヤマチョウ酒谷家の女性と結婚し一時姻戚関係となるがすぐに死別した。)

三家とも江戸期から北前船経営を行い、函館は彼らの商圈のひとつであったようである。三家のうちワチガイ酒谷家は函館に店を構え、函館を拠点とした。当該資料の中心人物であるチガイヤマサ酒谷長作はワチガイ酒谷家の二階を間借りして、おもに春から秋にかけて商いを行っていたようである。酒谷長作がワチガイ酒谷家に来たのは単なる商行為のためだけではなく、ワチガイ酒谷家の五代目が幼少であったためその後見人としての役割も担っていたようである。チガイヤマサ酒谷家に関しては、本家のチガイヤマチョウ酒谷家の後見人も勤めている。

資料の大半は商業関係書翰であるが、酒谷長作と橋立にいる家族との私的書翰も残されている。商業関係書翰は専門用語や、やりとりした者同士しか分からない表現などを使用するため、解読や人物比定が非常に難しい。私的書翰は通常残りにくいものであり、当時の遠隔地経営を行う商人の生活状況の一端を知る資料となる。

書翰の場合、それを読み解いていく際に、そこに登場する人物の関係を読み解くことが難しい。誰と誰が兄弟で、誰と誰が親戚関係であるかということは、書翰をやりとりする者同士では当たり前なことを書く必要がないため、書面に出てくる人物の関係を把握するのに限界が生じる。幸にして、チガイヤマチョウ酒谷家の子孫の方（現東京在中）からチガイヤマサ酒谷家に関する系図を作成していただいたお陰で、今まで分からなかった関係が明らかとなった。他に平成14年に加賀市で開催された、北前船主酒谷家旧蔵コレクション展の図録『海商の風雅とその遺産』において掲載されている「酒谷家の系譜」、ワチガイ酒谷家の子

孫の方が作成した系図によっても三家の変遷を知ることができた。

話が少し複雑になるが、当該資料の中心人物酒谷長作とチガイヤマサ酒谷家のことについて触れておく。長作の母はチガイヤマチョウ七代目酒谷長兵衛の妹で父は婿養子となった橋本五郎兵衛（改名して酒谷長治郎）である。この時点でチガイヤマチョウ酒谷家からの分家となり、新たにチガイヤマサ酒谷家となる。時期は正確にはわからないが、長女が元治元年生まれなのでその頃と思われる。長作は長男で、三人の姉と二人の妹がいる。長女は七代目酒谷長兵衛の養女となり、次女は他家に嫁ぎ、三女は当該資料内において長作と手紙のやりとりを頻繁におこなっている長一郎（久保彦蔵三男弥由松、チガイヤマサ酒谷家の婿養子となる）と結婚するがすぐに亡くなり、四女が長一郎と再婚する。五女はチガイヤマサ八代目酒谷長平と結婚する。

長作は久保彦助妹ツネと結婚し、四男三女の子供がいる。当該資料内では三人の子供の手紙が確認できる。因みに手紙の内容から察すると長作の妻子と長一郎夫婦は同居しているようである。長一郎の妻であり長作の妹であるトメからの手紙では長作の家族の近況がたびたび記されている。住宅のあった橋立に長作の子孫は現在はいないようであるが、「蔵六園」という庭園と建物が公開されている。

・酒谷長作とワチガイ酒谷商店

明治6年に生まれた長作がいつ頃から商活動に従事し、函館にいつ頃来たかは不明である。資料の初出は明治25年であるから長作が19才の時になる。長作の名が初出するのは、明治30年、長作24才の年の資料であるがワチガイ酒谷家にいるかは不明である。明治39年には「西濱町酒谷長作様」とあることから函館の西浜町にいることがわ

かる。明治41年に「酒谷小三郎方 酒谷長作様」と記載されるようになるのでこの頃にはワチガイ酒谷家にいる。ワチガイ酒谷家は四代目酒谷小三郎が明治38年に西浜町35番地の土地を取得し翌年店を新築している。しかし40年に死去してしまい、この時五代目となる長男孝輔はまだ12才であった。また明治40年には西浜町37番地に長一郎がいることを示す資料がある。西浜町37番地の土地は酒谷小三郎が所有しており、ワチガイ酒谷家の資料(「酒谷家関係書類等」資料番号15-71)の中にも西浜町37番地宛の資料もある。このような状況の中で、年代は不明であるが、長作が五代目酒谷小三郎の後見人になることが示されている資料がある。(No.1310) その中には「酒谷小三郎後見人酒谷長作ニ擔任セシムル事ニ同意ス」とある。また、函館精米株式会社に対して明治41年6月に出した書類には、酒谷小三郎から後見人としての酒谷長作に名義を変更している。(No.0068)

長作がワチガイ酒谷家にいたことを確認できる資料は大正4年までのものである。(No.1037) 大正4年の資料では五代目酒谷小三郎は当時20才で橋立にいる。(No.1058)

同年の資料(No.1032・1033)では「酒谷小三郎後見人酒谷長作代理人宮坂清造」とあることから、大正4年までは長作が小三郎の後見人を務めていたようである。ワチガイ酒谷家の資料では大正5年には酒谷小三郎は函館にいる。(「生存分配金附養老保険証券」資料番号15-71「酒谷家関係書類等」) 四代目酒谷小三郎の肖像写真(資料番号15-71「酒谷家関係書類等」)の裏書きに「倅孝輔材産引渡スル定メ同人廿一才ハ岡崎木谷兩人ノ請持」とあり、恐らく大正5年に酒谷孝輔こと五代目酒谷小三郎がワチガイ酒谷商店の店主に就任したものと思われる。このことから後見人としての長作の役目は大正5年で終わったものと思わ

れる。リスト上からも大正4年以降の資料の中に長作に関するものはほとんどなくなる。しかし、後見人としての役割は終わったが、函館を拠点に商活動は続けていたようである。昭和3年の資料では長作は橋立から手紙を出している。(No.1127) 昭和7年の資料では差し出し地は不明であるが酒谷商店宛に銀行預金の件で手紙を出している。(No.1132)

・酒谷長作の商活動

函館のワチガイ酒谷商店にいた長作の商活動についてみておきたい。いくつかの商活動をおこなっているが、船に関わるものとしては、残された資料からみていくと七浦丸・小福丸の2隻を所有して、各地の産物を相場をみながら売買していたようである。いわゆる「北前船」的な経営をおこなっていることが窺い知れる。小福丸は資料No.0483から総トン数161トン余りの帆船(恐らく木造船と思われる)である。七浦丸については、資料No.0766に「帆船七浦丸ハ去月青森縣下ニ於テ御遭難ノ趣」とあり、資料No.1009に「石炭運賃之都合により魚津行を積入れ一兩日中に出帆可致候」とあり、帆船か汽船かいまのところ不明である。

七浦丸の船頭三嶋岩松から長作宛に出された手紙・書翰・電報類の差し出し場所をみていくと、道内では小樽・利尻・樺太の野田寒、本州では鱒ヶ沢・浜佐美(小松)・小浜・鮎川・舞鶴・西郷(隠岐)・浜田・越ヶ浜(萩)・下関・尾道・田辺・島上(神戸)・難波(大阪)といった所がみられる。また、別の資料には「小福丸今日カムサツカ行出帆」(No.215)とあり、カムチャツカ方面へもいっていることが窺える。書翰の差し出し場所以外にも、内容から他の場所も見受けられる。

取り扱う物は肥料(魚粕・大豆粕等)や昆布その他海産物が主な物である。長作との

やりとりの例をみると、たとえば七浦丸の船頭三嶋岩松から出されたハガキ(参考資料①No.208・②No.54)にみられるように相場の報告がなされたり、購入の可否を求めたりしていることが分かる。このような資料が多数残されている。しかし明治末期になると廻船による商売はあまり利益があがっていないようで、七浦丸船頭三嶋岩松から長作宛に利益を上げられないことに対する詫びと船頭の暇乞いの依頼のような資料も残されている。(参考資料③No.490)

この資料が出された年には小福丸が売却されている。(No.0481・0482・0483・0484・0485) 小福丸の売却値段は資料No.0485に「昨日之電信小福丸四千八百円承諾メ売状之出電直ニ売払スル様返信仕置候」とあるように4,800円であった。この売却値段は三嶋岩松の手紙に「小福丸様ニも弥々御賣却誠ニ相成候由直段も思ヨリも高直ト存候」(参考資料③)とあることから、高く売れたようである。七浦丸は、大正元年9月に青森の鱒ヶ沢で座礁し、翌年5月まで離礁作業がかかったようである。その後年代は不明であるが売却の話がでている。(No.1172)

長作の商活動は以上の船舶により物品の売買だけではなく、株の売買や銀行との取り引き、貸し金などもおこなっている。そのやりとりには加賀橋立にいる叔父の長一郎が大きく関わっている。(参考資料④No.0946 他に多数あり)

参考資料④からも分かるようにかなり大きな額を動かしている。「北前船」的経営をおこないながら、金融取引などにもその経営を広げていく橋立の商人の一事例をみることができる。

当該資料群には酒谷長作に関する経営状況を知り得る帳簿類は残されていないので、詳細な経営実態を知ることはできない。しかし、残された所有船舶からの手紙や電

報・書翰類から経営者側に対しどのような情報が伝えられているのかが分かり、そこから経営者がどのような判断を下していくかも読み取れる。また、同族の経営者同士が書翰のやりとりを行いながら情報を交換し合い、利益を上げていく様子も知ることができる。

・酒谷長作と家族のやりとり

前述したように、長作には四男三女の子供たちがいる。残された史料の中には、妻や姉の手紙と同封された子供たちのたどたどしい文字で書かれた手紙がある。妻とやりとりした手紙が残されていることもあまり事例としては多くはないと思うが、子供たちのそれも小学校低学年程度の手紙が残されている事例もそう多くはないと思われる。

子供たちの手紙は、内容的に重要なものではないが、明治末期から大正初期における、いわゆる単身赴任をしている父と子の関係を垣間見ることのできる貴重な史料ととらえることもできるのではないだろうか。(参考資料⑤No.0605 ⑥No.0511) 封筒には「酒谷長一郎内」とあるが、手紙の中には「酒谷内」や「チガイヤマサ内」と記載され、内容的は妻からの手紙と思われる。

長一郎の妻であり長作の妹であるトメからの手紙も多数残されていて、家族の近況や地元の様子などを長作に伝えている。(参考資料⑦No.0251) 前述したように、長一郎夫妻は長作の妻とその子供たちと同居をしている。そのこともあってか、長作の子供たちのことについて詳しく伝えており、一見すると長作の妻と間違ふような内容である。

妻子や妹からの手紙により当時の暮らしぶりや橋立地域で起きていることなどが窺い知れるとともに、単身赴任者へ対する家

族の気持ち、単身赴任者の家族へ対する気持ちも知ることができる。

参考資料①

「拝啓仕候、陳ハ先便ニ申上候利尻も粕ナシト返信、羽鯨一貳六有之（マシケジヨネ一六三ヨリ一五五ト返信在之、樺太行今朝ノ便ニ申上候次第、依テ只今架電左ニテミタカマシケカスネ一六三ヨリ一五五〇エサシネ一五五カウカカラフトエユクカ）申伺上候カラ太も行安キ買入如何被存候、シメダイ支店ノ返信之通り又後日テハ目欠恐多キ如何致候哉ト心配仕候間、可然御返信ニ依り取計仕候、早々」

参考資料②

「謹呈仕候、陳者昨日電報ニテ「ナリユキウレハヤククダレ」トノ御下命ニ接し候へ共、何分共電信ニテ申上候様ノ安宅仕末ニテ不待己橋立御主人様ノ御命令ニテ当地へ回船ノコトニ致し、当店久保両家ニテ交渉中ニ御座候、生憎下り風ノ為メ本船ハ未ダ入津無之候（後略）」

参考資料③

「拝謹時下寒気日増候處御主人様ニハ益々御清祥被遊御座大慶之段奉賀上候下テ拙家も無事罷仕在候間乍他事御承引可被成下候扱ハ小福丸様ニも弥々御賣却誠ニ相成候由直段も思ヨリも高直ト存候実ニ喜敷事存候七浦丸も本年も又々不勘定ニテ金多分ニ入テ其効も無之何共申訳も相済不申候へ共致方無之候依而小生も小福丸様賣却之相成候へ者御暇御願度上存候身体上ニハ本年も一日ノ病も無之壯健ニ候へ共此頃之儲ノナキト水夫ヲ使用及小生之如キ弱気者此頃ノ用ニも相立不申候間御主人様ニ対シテ用立不申乍併休業候時ハ何成共致度候へ共在村ニテハ致ス事も相成不申如何ト思案ニ相訴不申候御主人様ニも寒之強ク相成候間御用済

御帰国之程奉待上候其上ニテ御相談仕候当末吉も一昨日無事帰宅仕候且ツ亦御承引可被成下候先者時節柄御自愛專一ニ願上候早々頓首」

参考資料④

「(前略) 扱今度橋谷巳之吉氏ヨリ汽船買入ニ付貳三萬円借用申込之趣、月老歩之割ニテ六七月頃迄之期間ニテ宜敷候由承諾仕候、信用之貸付之事故、彼船之保険状ニテモ書入何ナリ供手堅イ取組スル様極情ニ引合、我等ヨリ申出ト申テ貸付ケ取計可致成候、小口預ケ計老万円計残し不足分ハ第三銀行の十二月五日定期の内ヨリ都合シテ貸付可致成候、又老万円迄ハ大阪ニ小口預ケ之内渡しテモ宜敷候間、十二月差入ニ入用敷聞合之上御報告可致成候、遊び金待入ルモ損ニナル事故其積リニテ取扱いスル様、日歩ナレバ三銭五厘ニ定ル事、七浦丸モ昨日大阪処納メ申候、多度津モ寄せ引合致候得共、四九〇ニ不売来、二月之半上ゲ五〇直入ニ候得共、彼地春直安之地ニ付見合申候、尾ノ道ニテ切出し中荷少シト売拂候、何分元高二付居候間不引合ニ候也、金配之處ハ大阪定キ継続シテ七分老厘五毛迄預ケ替致、長尾呉兵衛殿今度農工ヨリ老万六千円借替スル事と致候由ナレ共、四千元不足之分金配如何と存じ、手元不如意ト推察致居候度之四銭歩割引約手申来候得共、チガイヤマチョウニハ時之貸居候趣故見合候処、如何ナル訳ケ敷持替之處申込ニ候、未ダ付八朱半と利上ケ見合居ニ、右様ナル事其代りて於勢真十郎ヨリ岩崎町宅地千四百坪ニテ三萬円申込建家三戸ヨリ無し候得共、保証人同佐兵衛ニテスル事はモ貳万三五千円月九朱之返事仕置候得共、掛合中幸町五丁目裏屋申込有之候得共、是ハ電車道チニテ一時之入用申込ニ候、市田治兵衛殿二万円之内老万円受取老万円三月一日限りニ候、三原氏ハ二万五千元此三十日老万円

期日ニ候也、此地ハ先日片山津山中屋之処中根忠平買持チニ今度動橋ノ水口宇市買受ニ付、四千五百円動橋本宅水田宅地トモ二千五百円ノ七千円貸付月九朱半月ニ入ル事ニテ一ヶ年定メニ候、高国共立銀行エ五千円定キ年七分六厘六ヶ月間当坐壺銭五厘千円致候也、八十四銀行定キ三万二千円利七分ヨリ七分四厘迄、只今小口壺万三千円余月末ニハ六千円廻ル合有之候間、小松清水モ二銭三厘位ヨリ借手ナミトノ事ニテ壺万五千円之処引取り候也、残り五千円丈ケ相成候、特別公債引替償還ニ相成候由三輪エ貸し内番号引合せスル事一昨年特別償還之千円五百円二枚如何致候也利息トモ効無相成候ニハ残余ニ候間掛合スル事三十六回勸業利息十月分六枚トモ利礼取ル事三十四十一月分キューサ貸利礼取ル事田畑岩吉分田畑平七西原十月限利息取り本証書替スル事手形ハ手元ニ有之候（後略）」

参考資料⑤

「其後久しく御伺い申さず如何御暮し遊ばされ候哉、御伺い申上候、二ニ当方皆々無事ニ暮し居り候間、左様御安心下され度候、昨日運動会ニテ郡長さんが御出に相なり、長藏ハ賞品をもらひ、本日初め皆々喜び居り申候、一年生でハ五六人に御座候、各学年ニモ五六人づつもらひ候由ニ御座候、賞品ハ筆と墨に御座候、長藏の喜びハ一方ならず候、御帰りの節御目にかけて大切に致し居り候、扱て只今松茸小包にして御送り申上候間御笑味下され度候、先日西原様より珍らしき品下され候間、宜しく御礼申下され度候、御内一も松茸少々御贈り致し度候へとも、此度は丈にて品切ニ御座候ニ、三日内に八角折求め御贈り申度とぞんじ居り候、先日橋本様御葉書き下され、先達て御送りの古着ハまちがひたる様御心配之由御申越に相なり、私方にハトキ物裏表たけ受取り申候、決してまちがひハ致し申

さず候間、五作へ別紙差上申さず候間宜しく御傳へ下され度御頼み申上候、何卒御身御大切に遊ばされ度、先ハ御案内迄 草々
十月十三日夜 酒谷内

長作様

「オトウサン、オカワリモアリマセンカ。ワタクシハ、マイニチ、ベンキヨシテオリマスカラ、ゴアンシンクダサイ。キノフハ、ウンドクワイデ、グンチヨサンガオイデニナリマシテ、ホウビニ、フデト、スミトモライマシテ、ヨロコンデ、ヲリマス。ナニカ、アマナツトト、パナナヲクダサイ。オネガイマウシマス。サヨナラ。

十月十三日

長藏

父上サマ

「オトウサンオカワリモゴサイマセンカ。チヨエモ、ヘイヒチサンヤ、ホカキチトマイニチアスピテ、ヲリマスカラ、ゴアンシンシテクダサイ。ナニカ、ヲカシカ、バナナアリマシタラ、ヲウクリテクダサイ。ヲタノミ、ヲモシマス。サヨナラ。

チヨエ

オトサン

参考資料⑥

「拝啓、永々お天気も昨日夕方より雨降りと相なり申候、御道中御無事にて御安着遊ばされ候由、電報にて御知らせ下され一同安心致し申候、其後御くたびれも出ませんか御伺ひ申上候、二ニ当方皆々あい変わらず無事に候、又艶子も日に快方に相なり候間、左様御安心下され度候、又昨日ハ東京より之御葉書有り難く拝し申候、又長藏、長英にも読みきかせ申候、御出文之節ハ長英余り泣き、私等も胸せまり、涙をもようし申候ところ、皆様之帰らぬ内に私ハ家へ帰り申候、長英ハ夫れより家へ帰り弁当をもちて御父さんを向に行くと申居り候、皆がして漸くだまし申候、夫より毎日々々御父さんが何所まで行ったか、又如何して入らし

やるやと申さぬ日ハ一日も之無く、唯たゞ御父さんの事計り申居り候、今日此手紙を書く時にも一所に居りまして、汽車之付いた絵はがきがありましたら、此汽車に乗て御父上さんの所へ行きたいと申て居りました、誠に々々可愛相に思ひ、又々涙をうかべ申候次第に御座候、雪が降る早く御父さんがくれぱよいと唯だ口に之み申居り候、今でハ泣き申さず候故御安心下され度候、おり々々御手紙下され御待ち申居り候、長蔵にも又勉強せよと御申越し下され度御頼み申上候、何分にも御身御大事に遊ばされ度、先ハ乱筆を以て御悦びまで申上候、誠に々々分れハつらい物に御座候、筆末乍ら増谷様、橋本様にも宜敷御申伝へ下され度候、此手紙ハ誰も見ぬ用御しまつなし下され度、御頼み申上候、早々 かしこ
五月三十日 チガイヤマサ内
長作様 』

参考資料⑦

「拝啓、本年の夏さハ近年なき夏さて誠に困り居り候處、此間少しの降雨の為か五六日前より少し涼しく相成り、ようやく凌き安くなり候ところ如何御暮し遊はされ候哉、御伺ひ申上候、二ニ当方無事にて暮し居り候間、左様御思召下され度候、長英ハ夏の為めか体が弱く、先月二十七日より入り十日乳母と片山津へ入湯致し候ところ体が丈夫になり目方ハ重くなり、誠にき々めあり悦び居り候ところ、当地近在に小供の「セキ」風か大そうはやり、長英ハ盆時分より其セキ風を取り困り居り候、何家を聞きても七八十日余り長き様子にて心配致し居り候、くすりハか々さずのませ居り候間、左様御承知下され度候、長蔵ハ相かわらず無事に御座候、先達て長二入院の節ハ御心付け誠に有り難く御礼申上候、当家に八十円しかやらず実に心配致し申候、四五日内にハ退院の様子に御坐候故都合して又

少し御送り下され度候、本年ハきんこ及くしかいも少し御送り下され又昆布にハかたく札を付けて下され、昨年ハ困り申候間、宜敷御頼み申上候長蔵、長英ハことしハ一度もかすていらを送りはなくと申居り西瓜ハ日に二度もたべると云て困り居り候間、御手紙つき次第一函御送り下され御たのみ申上候、ずいぶん御身御大切に遊はされ度かげなからいのり居り申候 早々 かしこ
八月二十四日 午後一時半 とめ子
長作様 』

・資料の整理にあたり、酒谷鉦五郎氏・酒谷雛子氏・酒谷美保氏・加賀市教育委員会より多くのご助言・ご協力をいただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

・資料整理に参加した方々(敬称略・順不同)
青木誠治・太田哲也・熊谷與志子・高橋篤史・宮本朋佳・安井政樹・松橋弘二・磯西健一・青木稔栄・加藤成一・中川八重子・安田繁子・柴田等・山口精次・駒井麗子・布施和洋・片山剛・福村美保子・山下和夫・大石俊久・足沢弘文・目黒好子・小西洋子・荒木千鶴子・吉田忠博・渡辺俣・無量林智子・石塚直樹

(市立函館博物館学芸員)



No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0001	記(領収証)	函館汽船株式会社→広谷明彦	明治25年7月30日	1371	
0002	船舶保険関係書類(静隆丸)	帝国保険株式会社匹田将発→棟方才吉他	明治28年8月26日	0494	
0003	電信控(酒谷長作が打電した電信の控)	酒谷長作→	明治30年2月	1360	
0004	当座小切手	成田嘉七→酒谷	明治30年7月30日	1318	
0005	貨物保険合格船証状(帆船小福丸)	日本海上保険株式会社→酒谷長一郎	明治31年8月23日	1357	
0006	船舶保険証券(汽船豊漁丸144ト、55)	帝国海上保険株式会社村瀬喜雄→酒谷長一郎	明治33年10月5日	1349	
0007	証(返済期限変更の為証書反古の件)	酒谷長一郎→駒井彌平	明治35年9月1日	1332	
0008	領収書等	(キューメイ)他→酒谷他	明治36年11月22日	1290	816
0009	記	増谷祐二→酒谷長作	明治37年5月30日	1331	
0010	船舶保険証券(汽船清隆丸総噸数183ト、07)	帝国海上運送火災保険株式会社取締役村瀬善雄→宗方才吉	明治37年11月29日	0489	
0011	承諾書(汽船静隆丸譲渡後の保険契約の件)	帝国海上運送火災保険株式会社取締役村瀬善雄→高藤重蔵旧船主棟方才吉	明治38年2月28日	0493	
0012	証	酒谷商店→酒谷長作	明治38年6月19日	1308	
0013	船舶保険証券(汽船豊漁丸147ト、55木造)	日本海上運送火災保険株式会社社長右近権左エ衛門→酒谷長一郎	明治38年10月6日	1361	
0014	船舶保険関係書類(汽船豊漁丸)	日本海上運送火災保険株式会社常取締役員岡崎藤吉他→	明治38年12月26日	0487	846
0015	金銭覚書		明治38年	1363	
0016	株式申込証(北海道人造肥料株式会社株式)		明治39年11月	1327	
0017	書翰(返済不履行のお詫びと遅延のお願い)	小樽広谷源治支店広谷順吉→酒谷長作	明治39年12月7日	1111	426
0018	証(弁天倉庫預証、質入証)	酒谷商店→岩崎岩次郎	明治40年3月30日	0503	
0019	船舶保険証券(帆船喜悦丸 89ト、91木造)	日本海上運送火災保険株式会社社長右近権左エ衛門→宮本源吉	明治40年3月31日	1294	
0020	承諾書(汽船豊漁丸船長交代の届出等)	八十島日本海上運送火災保険株式会社→酒谷長一郎	明治40年6月3日	0495	847
0021	電報(「電文ミタ豊漁○船長1シク函諸変り次等イ知らせ」)	ニホカ→高橋回漕店方酒谷	明治40年6月30日	0490	
0022	船舶保険証券(汽船豊浦丸147ト、55木造)	日本海上運送火災保険株式会社右近権左エ衛門→酒谷長一郎	明治40年7月5日	1295	848
0023	書翰(株主定時総会開催通知)	函館汽船株式会社→酒谷長作	明治40年7月6日	0728	
0024	船舶保険関係書類(帆船喜悦丸保険金支払の件等)	日本海上火災広部→酒谷長作	明治40年7月24日	0492	
0025	東京興信所案内	東京興信所→	明治40年9月14日	1313	
0026	不動産増抵当金円貸借変更契約証書謄本	酒谷長一郎→蓬萊町武蔵野祐五郎	明治40年10月28日	0636	238
0027	封筒	函館船具合資会社→酒谷	明治40年	0455	
0028	領収書(静隆丸遭難之ギクン金)	山本回漕店→酒谷	明治40年	0488	
0029	書翰(入金、残額後日支払いの件)	岩崎岩次郎→酒谷	明治40年	1097	412
0030	書翰(荷物預かり依頼)	大町谷徳太郎→酒谷旦那	明治40年	1098	413
0031	判決文謄本	酒谷商店→	明治40年	1156	471
0032	書翰	樺太建網漁業水産組合連合会→酒谷長作	明治40年	1173	
0033	封筒	酒谷商店→	明治40年	1178	
0034	水引き他	酒谷長作→斉藤金蔵	明治40年	1310	
0035	樺太岸建網漁業水産組合関係書類(樺太建網漁業水産組合加入申込書)		明治40年	1328	
0036	大聖寺区裁判所の決定書謄本(酒谷孝輔親族会員選定書類)	大聖寺区裁判所判事塩田元恆→	明治41年1月25日	0932	300
0037	株式移轉登録請求書	酒谷小三郎→日本海上運送火災保険株式会社社長右近権左衛門	明治41年4月	1377	
0038	電報(「シヨフクテジマイシタ」)	発信局エサシクポ→酒谷長作	明治41年5月30日	0024	494
0039	書翰(特許漁場の実収高調べ)		明治41年5月30日	0754	100
0040	書翰(電報受領の件と近況報告)	江差久保彦一→酒谷長作	明治41年5月30日	1262	797
0041	電報(「シヨフクマルサクヤダタ」)	クボ→酒谷長作	明治41年5月31日	0023	493

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名(内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0042	電報(「キタシホテア21ルケントへ」)	七ウ→酒谷長作	明治41年6月2日	0011	481
0043	電報(「シホチドリ子221ウルカイへ」)	→酒谷長作方(ヤマ)	明治41年6月2日	0013	483
0044	ハガキ(小福丸状況報告)	鯨ヶ沢在七浦丸岩松→酒谷商店御主人	明治41年6月2日	1249	785
0045	封筒	函館塩販売所→	明治41年6月2日	1373	
0046	電報(「トキリテゐ223トメタフ」)	レ→酒谷商店(ヤマ)	明治41年6月3日	0027	497
0047	書翰(商取引連絡)	鯨ヶ沢合名会社倉庫方七浦丸岩松→酒谷商店御主人	明治41年6月3日	1122	437
0048	電報(「フネダシタ」)	イワ→酒谷商店	明治41年6月7日	0028	498
0049	ハガキ(出帆の件)	鯨ヶ沢在七浦丸岩松→酒谷商店御主人	明治41年6月7日	1254	789
0050	電報(「ブジキタニシ33ケン」)	フク○→酒谷長作	明治41年6月9日	0030	500
0051	書翰(商売関係報告)	安宅町木下傳二方小福丸五作→御主人	明治41年6月10日	1244	780
0052	書翰(小福丸、七浦丸の件等)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治41年6月11日	0003	68
0053	電報(「ココフウレツルガゐ35ユク」)	発局アタカ五→酒谷長作	明治41年6月11日	0035	505
0054	ハガキ(住友支店宛手形の確認等)	京都市下河原酒谷→酒谷長作	明治41年6月12日	1246	782
0055	ハガキ(小福丸入港の件)	越前敦賀蓬萊清水仁三郎方小福丸五作→御主人	明治41年6月12日	1258	793
0056	電報(「キタニシ362ウタフミ」)	フク→酒谷長作	明治41年6月13日	0034	504
0057	書翰(価格の通知)	小樽町ノ方三嶋岩松→酒谷長作	明治41年6月13日	0782	128
0058	書翰(商売状況報告)	→御主人	明治41年6月14日	1263	798
0059	ハガキ(小福丸積荷の件)	江差久保彦一→酒谷長作	明治41年6月15日	1252	787
0060	ハガキ(時候の挨拶と近況報告)	新舞鶴町新井場商店→酒谷長作	明治41年6月19日	1229	
0061	電報(「ヤマタニリヨバニテ1500コクヨリナイツクスエニミナホセルホクコバヤシヤカマタエシラベニユクカスシヨラ1100エンカエルセンコクホドカ」)	キ→酒谷長作	明治41年6月20日	0015	485
0062	書翰(商品買付けの報告)	西海岸野田山■米谷方七浦丸岩松→酒谷長作	明治41年6月20日	0780	126
0063	ハガキ(着船報告)	マウカ七浦丸岩松→酒谷長作	明治41年6月20日	1230	
0064	電報(「ミタシヨチカスカウカネーマンエンデンカワセオクレ」)	→酒谷長作	明治41年6月21日	0016	486
0065	電報(「3センエントリタ」)	七ウラキヤ→酒谷長作	明治41年6月22日	0012	482
0066	電報(「ショフクイマヲタルムケダタ」)	→酒谷長作	明治41年6月24日	0033	503
0067	書翰(積入の報告)	マウカ七浦丸岩松→酒谷長作	明治41年6月24日	0786	132
0068	書翰(積荷の報告)	西海岸ノタノシ(シメダイ)出張店方三嶋岩松→酒谷長作	明治41年6月28日	0787	133
0069	名義書換関係書類(酒谷小三郎の後見人酒谷長作に株式の名義書換)	酒谷長作→函館精米株式会社	明治41年6月	1312	829
0070	電報(「ツミキリデル六六〇〇エンゴヒエナミヲクレウチ五センエンナカノニ」)	→酒谷長作	明治41年7月2日	0019	489
0071	書翰(小福丸預り素麺売捌の件等)	江差久保彦一→酒谷長作	明治41年7月2日	0850	162
0072	函館馬車鉄道関係書類(函館馬車鉄道株式会社案内状等)	函館馬車鉄道株式会社専務取締役社長松山吉三郎→酒谷長二郎	明治41年7月5日	1321	
0073	書翰(粕売上代残金の入金について)	会所町山田竹次郎→酒谷商店	明治41年7月6日	1235	
0074	電報(「ブジチャクシタ」)	発信人ショフク丸→酒谷長作	明治41年7月9日	0029	499
0075	電報(「ハママスノリフ50ヨリ138ユキテミテカウカへ」)	フク→酒谷長作	明治41年7月9日	0032	502
0076	物品送り状	木谷→酒谷御主人	明治41年7月9日	0749	95
0077	書翰(商売関係報告)	小樽町野野清左エ門方小福丸五作→御主人	明治41年7月9日	1240	776
0078	電報(「790コクツミタ60ホマチアトキヤニマカシテルカネヲトキヤニワタシタヤ」)	→酒谷長作	明治41年7月10日	0010	480
0079	書翰(商売関係報告)	小樽町方小福丸→酒谷長作	明治41年7月10日	1245	781

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0080	書翰(商売状況報告)	小樽町野清左衛門方小福丸五作→酒谷長作	明治41年7月10日	1264	799
0081	ハガキ(土産用身欠鯨の件)	小樽町野清左衛門方小福丸五作→酒谷長作	明治41年7月12日	1257	792
0082	書翰(商売関係報告)	小樽町野小福丸五作→酒谷長作	明治41年7月13日	1241	777
0083	書翰(商売関係報告)	小樽町野方小福丸五作→酒谷長作	明治41年7月13日	1243	779
0084	電報(「ヤケ140イカカへ」)	発信人フク→酒谷長作	明治41年7月14日	0031	501
0085	書翰(焼尻、天売での粕の在庫調査および同島での商談の状況報告)	小樽町野方小福丸五作→御主人	明治41年7月14日	1239	775
0086	電報(「ヤケ139ノリキメタ〇イマイラステタシタ」)	→酒谷長作	明治41年7月15日	0017	487
0087	書翰(焼尻粕買入れの件および送金依頼)	小樽町野小福丸五作→酒谷長作	明治41年7月16日	1238	774
0088	ハガキ(時候の挨拶と近況報告)	加賀江沼郡橋立橋谷平吉→酒谷長作	明治41年7月19日	1228	
0089	書翰(小福丸の安否、函館銀行株等の件)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治41年7月21日	0002	67
0090	電報(「ブジチャクシタ」)	→酒谷長作	明治41年7月22日	0036	506
0091	電報(「キタココウレヌヲノニチエユク」)	→酒谷長作	明治41年7月24日	0018	488
0092	書翰(商況報告)	下関原竹商店方七浦丸岩松→酒谷御商店御主人	明治41年7月24日	0781	127
0093	書翰(代理印鑑、用紙の届の件)	元町東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治41年7月24日	1234	
0094	書翰(近況報告)	酒谷長蔵→酒谷長作	明治41年7月25日	1236	
0095	書翰(呉比長七へ送金依頼、粕売買の件等)	焼尻村金子出張店方小福丸五作→御主人	明治41年7月26日	0005	70
0096	ハガキ(暑中見舞)	小樽区細山初次郎→酒谷長作	明治41年7月26日	1247	783
0097	ハガキ(不在についてのおわびの返事)	七飯村木下為三郎→酒谷長作	明治41年7月27日	1233	
0098	書翰(近況報告および商売状況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治41年7月27日	1271	806
0099	ハガキ(出帆見合わせの件)	焼尻金子商店方小福丸五作→御主人	明治41年7月29日	1256	791
0100	封筒	小樽広谷順吉→酒谷長作	明治41年7月29日	1279	
0101	書翰(メ粕の販売等について)	会所町山田竹次郎→酒谷御主人	明治41年7月29日	1280	
0102	電報(「ラクセンナギシダイテル」)	フク→酒谷長作	明治41年7月30日	0025	495
0103	ハガキ(粕購入の件)	在小樽小福丸五作→酒谷長作	明治41年7月30日	1255	790
0104	ハガキ(来店の件)	七飯木下商店→酒谷商店	明治41年7月30日	1265	800
0105	書翰(鯨メ粕函館倉庫へ入庫の件)	会所町山田竹次郎→酒谷御店	明治41年7月31日	1237	
0106	明細書(中国丸積の荷物と代金明細書)	酒谷商店→酒谷	明治41年8月1日	0747	93
0107	書翰(商況の報告と帆待の件)	尾道小林利兵衛方七浦丸岩松→酒谷御商店御主人	明治41年8月3日	0783	129
0108	書翰(値下げ掛合の依頼)	尾道市小林利兵衛方七浦丸岩松→酒谷長作	明治41年8月6日	0779	125
0109	ハガキ(暑中見舞と来宅時のお礼)	橋立久保彦蔵→酒谷長作	明治41年8月7日	1253	788
0110	ハガキ(豊漁丸への請求および送金の依頼)	青森共一舎回漕部鈴木友吉→酒谷長一郎	明治41年8月9日	1248	784
0111	ハガキ(近況報告と水産共遊会への招待)	小樽細山初次郎→酒谷長作	明治41年8月10日	1227	773
0112	借用証書	酒谷小三郎→森田國藏他	明治41年8月11日	0916	284
0113	書翰(商売状況報告)	江差久保彦一→酒谷長作	明治41年8月11日	1269	804
0114	書翰(金員支払について)	近藤孫三郎→酒谷長作	明治41年8月12日	0849	161
0115	電報(「ブジキタスグノボル」)	フク→酒谷長作	明治41年8月15日	0026	496
0116	書翰(借金猶予依頼)	仲浜町川端石太郎→酒谷御商店岡崎	明治41年8月21日	0764	110
0117	書翰(仲荷揚置の指示、依頼)	尾道食塩商会方小福丸五作→御主人	明治41年8月23日	0751	97
0118	書翰(返済猶予のお願い)	会所山田竹次郎→酒谷長作	明治41年8月25日	0771	117
0119	書翰(利子支払と借金返済延期の願い)	小樽広谷順吉→酒谷長作	明治41年8月27日	0761	107
0120	書翰(商況報告)	西浜町太刀川善吉→酒谷長作	明治41年8月28日	0743	89

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0121	書翰(売値指示に対する現況報告)	尾道食塩商会方小福丸五作→酒谷御商店御主人	明治41年8月28日	0750	96
0122	書翰(公債切替証書、借入金猶予の依頼)	江差久保彦一→酒谷長作	明治41年8月28日	0794	140
0123	書翰(借金延期のお知らせ)	地蔵町荻野清六→酒谷長作	明治41年8月29日	0753	99
0124	書翰(商況報告)	小樽町野商店町野清左衛門→酒谷長作	明治41年9月4日	0742	88
0125	書翰(窮状報告)	船見町大津屋之隣芦野祖母→酒谷長作	明治41年9月5日	0741	87
0126	領収書	小福丸橋本五作→尾ノ通士堂町食塩商会	明治41年9月8日	0748	94
0127	書翰(仲荷積入れの報告)	尾道食塩商会方小福丸五作→御主人	明治41年9月8日	0752	98
0128	農商務省令第十七號(肥料取締法施行規則)		明治41年8月15日	1362	
0129	書翰(興信所からの書類、捺印のお願い)	船場町近藤孫三郎→酒谷長作	明治41年9月18日	0769	115
0130	書翰(貸金相手の事前調査依頼への回答)	小樽呉比長七→酒谷長作	明治41年9月25日	0768	114
0131	書翰(相談の案内)	東浜町函館船具合資会社→酒谷	明治41年9月25日	0792	138
0132	封筒	船場町近藤孫三郎→酒谷長作	明治41年9月28日	0734	
0133	書翰(汽船第二錦旗丸観覧の案内状)	平出喜三郎→酒谷長作	明治41年9月28日	0738	
0134	書翰(支払願い)	弁天町小嶋興三郎→酒谷長作	明治41年9月28日	0788	134
0135	書翰(近況報告および商売状況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治41年9月29日	1275	810
0136	書翰(商売関係)	会所町山田竹次郎→酒谷御主人	明治41年9月30日	0790	136
0137	定時及臨時株主總會開催通知と委任状	日本海上運送火災保険株式会社→	明治41年10月6日	0797	
0138	書翰(商況報告)	元町東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治41年10月8日	0744	90
0139	書翰(株主總會召集通知書)	大阪製綿株式会社社長岡本喜三郎→	明治41年10月11日	0739	
0140	郵便物配達証明書	難波郵便局→酒谷長作	明治41年10月15日	0740	
0141	書翰(肥料取締規則改正の件)	尾道小林利兵衛方七浦丸岩松→酒谷御主人	明治41年10月15日	0784	130
0142	書翰(礼状)	小樽区入舟町田中仏師や方芦野マサ→酒谷長作	明治41年10月16日	0796	141
0143	書翰(商売関係)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治41年10月17日	0791	137
0144	書翰(尾道到着と商況の報告)	在尾道小福丸五作→御主人	明治41年10月22日	0776	122
0145	書翰(価格下落報告と船修理の指図依頼)	尾道士堂町食塩商会方小福丸五作→御主人	明治41年10月25日	0775	121
0146	書翰(新築工事報告の案内)	東浜町函館船具合資会社→酒谷	明治41年10月25日	0778	124
0147	金銭貸借関係書類	船場町近藤孫三郎→酒谷長作	明治41年10月28日	0773	119
0148	書翰(商売不振の報告)	尾道食塩商会方小福丸五作→御主人	明治41年10月30日	0758	104
0149	書翰(貸金返済のお願い)	酒谷長作様御直披→	明治41年10月30日	0770	116
0150	封筒	地蔵町荻野清六→酒谷長作	明治41年10月30日	0798	
0151	書翰(利息期間誤りの件)	小樽西谷回漕店→酒谷長作	明治41年10月	0793	139
0152	証文(金円受取書)		明治41年11月1日	1338	
0153	書翰(不動産抵当、貸金返済の件)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治41年11月2日	1270	805
0154	書翰(七浦丸の樺太柏の売買の件等)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治41年11月3日	0004	69
0155	書翰(商況不振のため、売値の指示依頼)	尾道食塩商会方小福丸五作→御主人	明治41年11月5日	0759	105
0156	書翰(会議の案内)	東浜町函館船具合資会社→酒谷長作	明治41年11月5日	0763	109
0157	書翰(七浦丸状況報告)	大阪三浦吉太郎方七浦丸岩松→酒谷長作	明治41年11月5日	1268	803
0158	書翰(商売状況の案内)	多度津舎方七浦丸岩松→御主人	明治41年11月6日	0774	120
0159	書翰(為替手形送付の連絡)	→酒谷長作	明治41年11月6日	0777	123

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0160	書翰(景況不振報告と修繕指図の催促)	尾道小福丸五作→御主人	明治41年11月10日	0757	103
0161	書翰(船舶修繕の指示願い)	尾道小福丸五作→御主人	明治41年11月16日	0760	106
0162	書翰(訪問の件)	小■→酒谷	明治41年11月16日	0789	135
0163	書翰(船団報告と切出額承諾願い)	大阪三原萬之助方小福丸五作→御主人	明治41年11月21日	0755	101
0164	譲渡貸借物件目録	山田竹次郎→	明治41年11月24日	0505	
0165	書翰(仕事仕舞と御主人様分切出の報告)	大阪小福丸五作→御主人	明治41年11月24日	0756	102
0166	書翰(契約書提出の件)	山田竹次郎→酒谷長作	明治41年11月24日	0772	118
0167	書翰(借金の支払と明細書)	弁天町橋谷巳之吉→酒谷且那	明治41年11月25日	0765	111
0168	書翰(息子の暇願い)	浜左美三嶋岩松→御主人	明治41年11月26日	0785	131
0169	書翰(利子分支払い通知)	弁天町橋谷商店→酒谷	明治41年11月28日	0766	112
0170	封筒	幸町岩崎岩次郎→酒谷	明治41年12月1日	0735	
0171	書翰(物品調査の案内)	東浜町函館船具合資会社→酒谷	明治41年12月1日	0762	108
0172	受取書		明治41年	0745	91
0173	書翰(謝罪と返済延期の願い)	幸次郎→且那	明治41年	0746	92
0174	書翰(雇用依頼に対する返書)	(ヤママル)→	明治41年	0767	113
0175	書翰(返済の件)	忠谷→酒谷長作	明治41年	0795	
0176	封筒	元町東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治41年	1169	
0177	漁場名義書替に関する念証(下書き)		明治41年	1297	820
0178	封筒	小樽呉比長七→酒谷長一郎	明治42年2月1日	0825	
0179	封筒	斉藤重蔵→酒谷長一郎	明治42年2月16日	0826	
0180	同意書(樺太建網水産組合連合設立に係わる件(雛形))	酒谷→	明治42年2月	1307	
0181	委任状	酒谷長作→	明治42年2月	1314	
0182	書翰(裁判経過に関して、醤油店営業不振についての件等)	岡崎半治→御主人	明治42年4月5日	0469	571
0183	第4回清算事務報告書(財産目録、貸借対照表および清算事務報告書)	北海道鉄道株式会社→株主	明治42年5月1日	1350	
0184	書翰(樺太島漁業家鮭収穫高の内報)	樺太真岡小森支店川源長作→酒谷長作	明治42年5月15日	0193	
0185	書翰(鯨の漁模様等について)	樺太島西海岸トマリボ山田漁業部→酒谷商店	明治42年5月17日	0187	251
0186	書翰(長蔵、長英の健康状態報告等)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治42年5月24日	0198	
0187	書翰(商取引不調の件)	舞鶴七浦丸岩松→御主人	明治42年5月26日	1123	438
0188	書翰(赤松の新借用証文諾否問い合わせと小坂の追加貸出許可について)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治42年5月27日	0664	690
0189	ハガキ(試験成績発表および礼状)	東京増谷平八→酒谷長作	明治42年5月28日	0206	
0190	ハガキ(注文品発送の知らせ)	大阪江下一大東岩助→酒谷長作	明治42年5月29日	0209	
0191	株主総会結果報告(明治41年度下半期清算報告)	北海道鉄道株式会社専務清算人坂本則美→株主	明治42年5月29日	1376	
0192	書翰(公債交付期決定報告)	北海道鉄道株式会社専務精算人坂本則美→	明治42年5月30日	0718	
0193	報告書(大阪電灯株式会社第41期営業報告書)		明治42年5月31日	0202	
0194	書翰(当座預金利息改正の件)	東浜町株式会社第三銀行函館支店→酒谷長作	明治42年5月31日	0686	
0195	ハガキ(預り証の受取、利息の送金の件)	江差久保彦一→酒谷長作	明治42年6月1日	0207	
0196	書翰(明治42年度上半期決算の件、在庫品調の案内通知)	函館船具合資会社→酒谷	明治42年6月3日	0205	
0197	ハガキ(商取引の件)	大阪江下一大東岩助→酒谷長作	明治42年6月4日	0208	
0198	書翰(支払金割引の件)	地蔵町荻野清六→長作	明治42年6月4日	0817	367
0199	書翰(商報告と自分の体調について)	小樽町野清左衛門方七浦丸岩松→御主人	明治42年6月11日	1126	441

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0200	書翰(近況報告)	大阪浜野久吉商店方三嶋嘉右衛門→御主人	明治42年6月8日	0192	256
0201	書翰(株主総会の件について)	北海道鉄道株式会社精算事務所→酒谷小三郎	明治42年6月8日	0203	
0202	書翰(株主総会の件について)	北海道鉄道株式会社精算事務所→酒谷長一郎	明治42年6月8日	0204	
0203	電報(「10500トヲモウボクカキトメカイフキンウケトリヲクレタノムフミシ」)	七→(ヤマ)五サク	明治42年6月8日	0214	507
0204	電報(「ブジキタイカスルヘシ」)	七ウラ→(ヤマ)	明治42年6月8日	0216	509
0205	書翰(商況動静報告)	小樽町野清友左衛門七浦丸岩松→御主人	明治42年6月8日	0670	696
0206	書翰(送金預け置き承諾の願い)	小樽町野清左衛門方七浦丸岩松→御主人	明治42年6月9日	0068	52
0207	電報(「テミタカマシケカスネ163ヨリ1550エサシネ154カウカカラフトエユカヘシ」)	七→(ヤマ)	明治42年6月9日	0215	508
0208	書翰(商い模様について)	小樽町野清左衛門方七浦丸岩松→御主人	明治42年6月9日	1124	439
0209	ハガキ(羽鯨の値の変動、増毛・江差の粕値の報告、樺太の品物買入の件)	小樽町ノ方七浦丸岩松→御主人	明治42年6月10日	0040	24
0210	電報(「ミタアルトコナリユキカウカカラフトエユコカろくシ」)	七→酒谷長作	明治42年6月10日	0217	510
0211	書翰(商取引連絡)	小樽町野清左衛門方七浦丸岩松→御主人	明治42年6月10日	1125	440
0212	ハガキ(相場の通知)	尾道小林利兵衛→酒谷長一郎	明治42年6月11日	0045	29
0213	電報(「クニヨリネ148シナワルクトソタンセトキタカクチシナヘルリシリネ155キヨキリマタシアソカウカサナクハカラクトエユカろくシ」)	七→(ヤマ)	明治42年6月11日	0219	512
0214	書翰(七浦丸樺太江向け出港手配、粕買付の打合せの件)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治42年6月12日	0190	254
0215	ハガキ(物の値段、量の手配について)	小樽在七浦丸岩松→御主人	明治42年6月15日	0039	23
0216	書翰(小福丸カムチャツカ向け出航通知、七浦商取引打合せの件)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治42年6月15日	0191	255
0217	書翰(七浦丸の出航通知および利尻着船後の処置)	小樽町野商店町野清左右衛門→	明治42年6月22日	0188	252
0218	電報(「カス640石ニシン6石ツミテルテシ」)	七→酒谷長作	明治42年6月23日	0218	511
0219	書翰(第三銀行函館支店へ送金の件)	小樽大家善六郎→様方坪田伊三郎→酒谷長作	明治42年6月28日	0195	
0220	ハガキ(商取引について)	橋立村酒谷長作→酒谷長一郎	明治42年6月28日	0210	
0221	組合連合会設置認可通知之件	樺太建網漁業水産組合連合会長笹野栄吉→	明治42年6月	1309	
0222	書翰(配当金受取と国元へ郵送の報告)	大阪井上直蔵→酒谷長作	明治42年7月4日	0659	685
0223	書翰(借入金返済状況について)	小樽呉比長七→酒谷長作	明治42年7月5日	0657	683
0224	電報(七浦丸到着の件等)	七ウラマル他→サカヤショテン他	明治42年7月5日	0662	688
0225	書翰(決算報告につき御来社願)	東浜町函館船具合資会社→酒谷	明治42年7月5日	0678	704
0226	ハガキ(本船の状況報告)	下関市七浦丸岩松→御主人	明治42年7月8日	0673	699
0227	書翰(粕売払指示と公債配当の問合)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治42年7月10日	0665	691
0228	書翰(身欠練代金の件)	小樽町野清左衛門→酒谷長作	明治42年7月11日	0660	686
0229	書翰(子供の近況報告)	酒谷長一郎宅→酒谷長作	明治42年7月14日	0199	
0230	書翰(七浦丸粕売却と三原万之助借用申込許諾の報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治42年7月16日	0666	692
0231	書翰(甘納豆のお礼)	長蔵、長英→お父さん	明治42年7月16日	0715	
0232	書翰(当座預金の勧誘)	百十三銀行支配人古山数高→酒谷長作	明治42年7月19日	0677	703
0233	書翰(抵当権解除依頼)	浅虫駅米田館内永井吉兵衛→酒谷長市郎	明治42年7月19日	0687	711
0234	書翰(身欠練お礼と平作療養の件)	橋立増谷平吉→酒谷長作	明治42年7月20日	0001	66

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0235	書翰(七浦丸状況報告)	尾道合名会社食塩商会七浦丸岩松→御主人	明治42年7月21日	0669	695
0236	ハガキ(海産物到着お礼)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治42年7月24日	0676	702
0237	ハガキ(送金に対するお礼)	橋立酒谷長二→酒谷長作	明治42年7月27日	0682	708
0238	ハガキ(金銭送付返書の件)	小樽藤山要吉店→酒谷長作	明治42年7月28日	0681	707
0239	郵便物配達証明書	京橋郵便局→酒谷長一郎	明治42年7月28日	0814	364
0240	記	函館塩販売所→酒谷長一郎	明治42年7月	0507	
0241	封筒	北海道鉄道株式会社精算事務所→酒谷長一郎	明治42年8月2日	0690	
0242	書翰(下関から鱈ヶ沢への積荷報告)	下関原田竹次郎商店方七浦丸岩松→御主人	明治42年8月3日	0668	694
0243	ハガキ(面談予定日の連絡)	七飯木下→酒谷長作	明治42年8月3日	0683	709
0244	ハガキ(火事見舞のお礼)	大阪製綿株式会社松田平八→酒谷長作	明治42年8月6日	0684	710
0245	書翰(七浦丸積荷保険の件、函館馬車鉄道株式会社株式配当通知)	酒谷長一郎他→酒谷長作他	明治42年8月7日	0679	705
0246	書翰(利息金間違いのお詫び)	小樽呉比長七→酒谷長作	明治42年8月8日	0656	682
0247	書翰(お手当金送与のお礼)	新舞鶴新井場清六→御主人	明治42年8月10日	0658	684
0248	回葬礼状(御香料礼状函館函書館へ金円寄贈)	船見町平出定吉→酒谷長作	明治42年8月16日	0685	
0249	書翰(借入金償還の対応と地震の報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治42年8月17日	0663	689
0250	ハガキ(本船の状況報告)	ヲキ国大山下七浦丸岩松→御主人	明治42年8月19日	0674	700
0251	書翰(近況報告)	橋立酒谷とめ子→酒谷長作	明治42年8月24日	0680	706
0252	樺太西海岸建網漁業水産組合臨時総会議事録	笹野栄吉→	明治42年8月27日	1302	825
0253	封筒	船場町近藤孫三郎→酒谷	明治42年8月29日	0689	
0254	書翰(加藤庄三金策の件)	小樽吉竹豊三→酒谷御主人附加藤庄蔵	明治42年8月29日	0848	160
0255	不動産関係調査書類	元町東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治42年8月30日	0655	681
0256	書翰(金銭貸借に関する件)	船場町近藤孫三郎→酒谷長作	明治42年8月31日	0661	687
0257	ハガキ(着船遅れの通知)	鱈ヶ沢倉口会社方七浦丸岩松→酒谷長作	明治42年8月31日	0675	701
0258	書翰(年賦金返金済について)	鱈ヶ沢合名会社倉庫様方七浦丸岩松→御主人	明治42年9月1日	0847	159
0259	書翰(本月限りの倉庫料について)	鱈ヶ沢合名会社倉庫方七浦丸岩松→酒谷長作	明治42年9月1日	0851	163
0260	書翰(近況報告および商売状況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治42年9月14日	1277	812
0261	先渡証書(先渡:岩崎岩次郎)		明治42年9月16日	1370	
0262	領収書半片		明治42年9月17日	0356	
0263	書翰(借入金利息の送金の件)	小樽西谷回漕店会計係中木→酒谷長作	明治42年9月19日	0819	369
0264	書翰(藤山に関する貸金について)	小樽西谷庄八→酒谷長作	明治42年9月19日	0846	158
0265	書翰(損益計算書打合せ、出席願いについて)	東浜町函館船具合資会社→酒谷	明治42年9月24日	0815	365
0266	書翰(損益計算書打合せ、出席願いについて)	小樽西谷庄八→酒谷長作	明治42年9月26日	0810	360
0267	書翰(カステラへのお礼状)	酒谷長蔵他→酒谷御父上	明治42年9月27日	0805	355
0268	書翰(拓殖銀行、八十四銀行預金の件)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治42年9月28日	0264	545
0269	伝票(頭金先渡)	→高橋松太郎	明治42年9月30日	1372	837
0270	樺太建網漁業水産組合聯合会臨時総会議事録	樺太建網漁業水産組合連合会→	明治42年9月	1291	
0271	書翰(安着通知)	下関原竹商店方七浦丸岩松→酒谷長作	明治42年10月1日	0808	358
0272	書翰(樺太積出荷の到着時届出の件)	富岡町樺太建網漁業水産組合連合会→酒谷長作	明治42年10月2日	0802	352
0273	書翰(酒谷長作の地番確認の件)	鱈ヶ沢中原長作→酒谷長作	明治42年10月2日	0845	157
0274	書翰(事業連絡)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治42年10月6日	0843	554
0275	株主総会関係(株主総会案内等)	日本海上運送火災保険株式会社→酒谷小三郎後見人酒谷長作	明治42年10月8日	0822	
0276	樺太建網漁業水産組合聯合会関係(通常総会通知の件等)	富岡町樺太西海岸建網漁業水産組合→酒谷長作	明治42年10月9日	0806	356
0277	書翰(借入金について)	酒谷商店方岸部栄二郎→酒谷長作	明治42年10月10日	0841	154

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0278	書翰(出産御祝)	酒谷小三郎宅→酒谷旦那	明治42年10月10日	0842	155
0279	書翰(昆布肥料等の取引について)	尾道食塩商会方七浦丸岩松→御主人	明治42年10月10日	0844	156
0280	書翰(永井吉兵衛に係る債権および 抵当権残額に関する件)	鱈ヶ沢中原長作→酒谷長作	明治42年10月11日	0840	153
0281	書翰(借入金について)	福島坂下町高森忠蔵→酒谷長作	明治42年10月12日	0839	152
0282	加入申込之件	樺太西海岸建網漁業水産組合組長 笹野栄吉→酒谷長作	明治42年10月13日	0799	349
0283	催告書類	→地蔵町工藤嘉七他	明治42年10月15日	0804	354
0284	韓国銀行設立関係(韓国銀行設立総 会案内書他)	韓国銀行設立委員長男爵松尾臣善 →酒谷長作	明治42年10月15日	0824	
0285	書翰(暇乞いの件)	五作→御主人	明治42年10月16日	0255	536
0286	書翰(債券譲渡に関する問題につ いて)	鱈ヶ沢中原長作→酒谷長作	明治42年10月16日	0838	151
0287	書翰(近況報告)	酒谷長一郎宅→酒谷長作	明治42年10月21日	0227	519
0288	書翰(函館滞在中のお礼等)	橋本五作→	明治42年10月21日	0256	537
0289	書翰(欠席通知)	西浜町太刀川善吉→酒谷長作	明治42年10月21日	0813	363
0290	書翰(商用の件)	江差久保彦一→酒谷長作	明治42年10月22日	0836	149
0291	書翰(商い模様について)	尾道在七浦丸岩松→酒谷長作	明治42年10月22日	0837	150
0292	書翰(函館馬車鉄道配当の件等)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治42年10月23日	0265	546
0293	書翰(帰宅通知、滞在中のお礼)	東京鈴木彌兵衛→酒谷長作	明治42年10月26日	0812	362
0294	書翰(近況報告および商売状況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治42年10月27日	1272	807
0295	樺太西海岸建網漁業水産組合関係書 類(樺太西海岸建網漁業水産組合第 1回通常総会及第2回臨時総会議事 録)		明治42年10月28日	1333	
0296	記(借入金返済の内訳)	船場町近藤孫三郎→酒谷	明治42年10月30日	0834	147
0297	書翰(近況報告および商売状況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治42年10月31日	1278	813
0298	書翰(利子、為替の件)	小樽藤山要吉店→酒谷長作	明治42年11月9日	0835	148
0299	漁夫契約証書用紙之件	富岡町樺太西海岸建網漁業水産組 合→酒谷長作	明治42年11月11日	0800	350
0300	塩蔵物移入届用紙之件	富岡町樺太建網漁業水産組合連合 会→酒谷長作	明治42年11月13日	0801	351
0301	封筒	根岸太郎→	明治42年11月20日	0827	
0302	書翰(礼状)	酒谷長一郎宅→酒谷長作	明治42年11月22日	0821	371
0303	舌代(釋善了(父治平)の法要案内)	谷末次郎→酒谷長作	明治42年11月24日	0807	357
0304	書翰(広谷、藤山に関する取引の件)	小樽西谷庄八→酒谷長作	明治42年11月25日	0809	359
0305	書翰(父治平死去に伴う香典返しの 件)	谷末次郎→酒谷長作	明治42年11月28日	0823	
0306	書翰(下決算について)	東浜町函館船具合資会社→酒谷	明治42年11月30日	0803	353
0307	書翰(商売関係)	江差久保彦一→酒谷長作	明治42年12月2日	0811	361
0308	書翰(酒谷商店全般についてのお礼)	小塩酒谷イヨ→酒谷長作	明治42年12月2日	0820	370
0309	書翰(橋立帰宅に際しての頼み事)	酒谷長一郎宅→酒谷長作	明治42年12月2日	0833	146
0310	書翰(トマリボ漁場経営資本出金の 件)	船場町鎌重函館支店鎌田文助→酒 谷長作	明治42年12月6日	0816	366
0311	責任保証書(守田兵次郎實弟守田重 正の物品購入代金支払の保証書)	幌泉守田兵次郎→酒谷小三郎後見 人酒谷長作	明治42年12月8日	0928	296
0312	書翰(申請書式差上の件)	会所町山田竹次郎→酒谷御主人	明治42年12月9日	0818	368

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0313	ハガキ(粕の値の変動の件)	利尻木村方七浦丸→酒谷長作	明治42年月22日	0041	25
0314	覚書		明治42年	0828	
0315	封筒	東出→酒谷	明治42年	0829	
0316	封筒		明治42年	0830	
0317	封筒	東浜町函館船具合資会社→酒谷	明治42年	0831	
0318	念証(漁業権取引関係に関わる件)		明治42年	1298	821
0319	樺太建網漁業水産組合聯合会定款	樺太西海岸建網漁業水産組合連合会→専売局長官浜口雄幸	明治42年	1351	
0320	金銭関係書類(支払命令証他)	酒谷小三郎後見人酒谷長作→船木徳松	明治43年2月8日	0644	246
0321	帆船賃貸借契約証書謄本(小福丸)	酒谷長一郎→飯田信三	明治43年5月10日	0501	849
0322	上杉真治・常野鉄店関係書類(財産証明願等)	常呂村上杉真治他→常呂外四ヶ村戸長梅木知義他	明治43年5月12日	0633	235
0323	帆船賃貸借契約証書正本(帆船小福丸1艘の賃貸契約書)	酒谷長一郎→増川三郎	明治43年5月20日	0486	850
0324	書翰(商売上の報告等)	礼文香深出米木六蔵→酒谷長作	明治43年5月24日	0296	
0325	旅行代金勘定書	→増谷祐二	明治43年5月29日	1210	759
0326	ハガキ(船の運行報告)	小浜七浦丸岩松→御主人	明治43年5月30日	0270	5
0327	書翰(近況報告)	酒谷長一郎宅→酒谷長作	明治43年5月30日	0300	
0328	ハガキ(出航の連絡)	小浜七浦丸岩松→御主人	明治43年5月31日	0277	
0329	封筒	西浜町田端半七→酒谷御主人	明治43年5月31日	1211	
0330	漁業料納付通知(第一期漁業料、期日まで納付の通知)	富岡町樺太建網漁業水産組合連合会→酒谷長作	明治43年6月1日	0281	843
0331	ハガキ(挨拶)	→酒谷長作	明治43年6月2日	0278	
0332	電報(株主総会の件)	北海道鉄道株式会社専務清算人坂本則美→酒谷長一郎	明治43年6月2日	0302	
0333	書翰(利子割引の件)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年6月3日	0286	
0334	書翰(明治43年度上半期決算の連絡)	東浜町函館船具合資会社→酒谷	明治43年6月5日	0282	
0335	ハガキ(風雨のため出帆見合わせの件)	礼文小福丸五作→御主人	明治43年6月8日	0301	
0336	ハガキ(商況報告)	小樽町野方七浦丸岩松→御主人	明治43年6月9日	0268	3
0337	書翰(肥料値段の問い合わせ、増谷平作への伝言依頼等)	小樽町野清左衛門方七浦丸岩松→御主人	明治43年6月9日	0272	7
0338	電報(「ブジキタ」)	発信人七ウラ→サカヤチヨサク	明治43年6月9日	0303	551
0339	電報(「ソヤ六〇〇コクノリ子一五カイケカへ」)	発信人七→サカヤチヨサク	明治43年6月10日	0276	550
0340	書翰(二十銀行為替送金の件)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年6月10日	0288	
0341	書翰(汽船生玉丸買受による開航披露案内状)	西浜町西出支店主任増田匠作→酒谷長一郎	明治43年6月10日	0289	
0342	書翰(商売上の報告等)	小樽町ノ方七浦丸岩松→御主人	明治43年6月10日	0297	
0343	電報(「リシリツタホヤキイン六〇〇コクノリ子一六三カイケカスへ」)	発信人七→(ヤサ)	明治43年6月11日	0275	549
0344	ハガキ(商況報告)	小樽七浦丸岩松→御主人	明治43年6月12日	0271	6
0345	書翰(手形受取の件)	小樽町野商店方七浦丸岩松→御主人	明治43年6月12日	0287	
0346	書翰(粕値段の報告等)	小樽町野清左右衛門方七浦丸岩松→御主人	明治43年6月13日	0294	
0347	書翰(電灯会社の配当金について)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年6月14日	0291	
0348	当座勘定残高照合並利息振替通知書	末広町株式会社百十三銀行→酒谷長作	明治43年6月14日	0292	
0349	書翰(商売取引報告の件)	香深出米木六蔵→酒谷長作	明治43年6月14日	0295	
0350	書翰(近況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年6月16日	0266	1
0351	書翰(時候あいさつ)	橋立増谷平吉→酒谷長作他	明治43年6月16日	0283	
0352	電報(「ヤス子一五〇〇ニシシーヒカエル」ナノウラ〇ムケテハイカガへ」)	発信人ミヤベカタクラヤ→サカヤチヨサク	明治43年6月17日	0274	548
0353	帆船保険証券	帝国帆船海上保険株式会社松井説造→岩崎岩次郎	明治43年6月21日	0504	
0354	ハガキ(息子の指導へのお願い)	橋立増谷平吉→酒谷長作	明治43年6月24日	0269	4
0355	ハガキ(礼状)	橋立酒谷まれ→酒谷長作	明治43年6月26日	0267	2
0356	電報(礼状)	発信人七ウラ→(ヤサ)	明治43年6月27日	0273	547
0357	書翰(お礼と近況報告)	酒谷長蔵他→父上さま	明治43年6月28日	0889	
0358	書翰(利子の件)	小樽一吉分家高森清蔵→酒谷長作	明治43年7月1日	0872	

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0359	株主總會通知	函館馬車鉄道株式会社専務取締役社長松山吉三郎→酒谷長一郎	明治43年7月2日	0888	
0360	株主總會通知	末広町株式会社函館銀行→酒谷長一郎	明治43年7月3日	0887	
0361	書翰(担保物件の件)	小樽加藤庄蔵→酒谷長作	明治43年7月4日	0867	21
0362	ハガキ(手形書に関する催促状)	利尻坪田伊三郎→酒谷長作	明治43年7月7日	0861	15
0363	ハガキ(地主会開催御案内)	渡島開発期成同盟会委員長竹内与兵衛→酒谷小三郎	明治43年7月9日	0885	
0364	ハガキ(地主会開催御案内)	渡島開発期成同盟会委員長竹内与兵衛→酒谷長一郎	明治43年7月9日	0886	
0365	電報(「ウクリキンウケタカスヘン」)	オニワキクホタ→サカヤチヨサク	明治43年7月12日	0884	557
0366	書翰(漁業料未納について)	富岡町樺太建網漁業水産組合連合会組長笹野栄吉→酒谷長作	明治43年7月13日	0882	843
0367	電報(「ブジキタカミュク」)	シモノセキセウラ→サカヤチヨサク	明治43年7月13日	0883	556
0368	書翰(銀行利子、貸付の件等)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年7月16日	0262	543
0369	株主配当金通知書	末広町函館銀行→酒谷長一郎	明治43年7月18日	1184	
0370	書翰(粕の売値および売船について)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年7月20日	0864	18
0371	書翰(本山住職就任式挙行通知)	元町大谷派函館別院→酒谷長作	明治43年7月20日	0865	19
0372	書翰(商模様についての報告)	忠海池田方七浦丸岩松→御主人	明治43年7月20日	0866	20
0373	書翰(銀行取引開始願)	東浜町株式会社二十銀行函館支店砂沢正俊→酒谷長作	明治43年7月27日	0862	16
0374	書翰(明治43年上半期損益決算について)	東浜町函館船具合資会社→酒谷	明治43年7月27日	0880	
0375	ハガキ(為替振込御札)	小樽呉比長七→酒谷長作	明治43年7月28日	1267	802
0376	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治43年7月29日	0879	
0377	納付書(明治43年上半期利益配当金)	東浜町函館船具合資会社→酒谷	明治43年7月30日	0245	528
0378	書翰(借金返済猶預願い)	小樽一吉分家高森清蔵→酒谷長作	明治43年7月31日	0863	17
0379	ハガキ(暑中見舞)	京都酒谷余三松→酒谷長作	明治43年8月4日	0860	14
0380	給料明細書(船渠へ派遣の雇用人の分)	函館船渠株式会社株式→酒谷長一郎	明治43年8月4日	1375	
0381	ハガキ(暑中見舞)	新舞鶴新井場商店→酒谷長一郎	明治43年8月7日	0876	
0382	決算報告関係(田畑貸家等)	橋立村久保周三→酒谷長作	明治43年8月7日	0877	
0383	ハガキ(商用)	下関源周方七浦丸岩松→酒谷御主人	明治43年8月8日	0858	12
0384	ハガキ(時候の挨拶)	大阪浜野商店方三嶋嘉右衛門→酒谷長作	明治43年8月8日	0859	13
0385	書翰(金利案内)	東浜町株式会社第三銀行函館支店→酒谷長作	明治43年8月8日	0873	
0386	利息割合引下げ通知	末広町株式会社百十三銀行→酒谷長作	明治43年8月8日	0874	
0387	書翰(拝借金返済について)	末富孝治郎→酒谷長作	明治43年8月8日	0875	
0388	ハガキ(暑中見舞)	新舞鶴新井場商店→酒谷長作	明治43年8月9日	0856	10
0389	書翰(お礼と支払いの件)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治43年8月9日	0871	
0390	ハガキ(平作手当お礼)	橋立増谷平吉→酒谷長作	明治43年8月10日	0857	11
0391	封筒	末広町北海道機械網株式会社末富孝治郎→酒谷長作	明治43年8月11日	0231	
0392	書翰(手形書換願い)	浜根岸太郎→酒谷長作	明治43年8月13日	0855	9
0393	ハガキ(昆布売買について)	香深米木六蔵→酒谷長作	明治43年8月22日	0854	8
0394	漁業料納入通知(納入期日変更のお知らせ)	富岡町樺太建網漁業水産組合連合会→酒谷長作	明治43年8月23日	0870	844
0395	ハガキ(土地の斡旋)	今井孝行他→小樽区松田商店	明治43年8月23日	0593	648
0396	書翰(東海道筋水害の件、函館不景気の件等)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年8月25日	0241	524
0397	電報(「ブジキタ」)	アチカサワセウラ→サカヤチヨサク	明治43年8月26日	0868	555
0398	書翰(別院貸入金の利率引上げのお願い)	太刀川善吉→酒谷長作	明治43年8月26日	0869	
0399	領収書(地方税明治43年度分等)	函館区収入役渋谷金次郎→酒谷長一郎	明治43年8月27日	1292	817
0400	書翰(貸金および利息の報告と船具会社配当の問い合わせ)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年8月28日	0667	693
0401	ハガキ(積荷状況の件)	鯉ヶ沢七浦丸岩松→酒谷商御主人	明治43年8月30日	0243	526
0402	書翰(借入金送金の件)	久保彦一→酒谷長作	明治43年8月30日	0257	538

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0403	北海道セメント株式会社の定期総会 関係書類(取締役堀越三郎死去の件 等)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年8月30日	0414	173
0404	臨時所報(露領ニコライスクおよび タムラオ方面鮭鱒漁に就て)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年9月1日	0423	182
0405	漁業料納入関係書類	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年9月2日	0413	172
0406	書翰(送金の件)	荻野→酒谷	明治43年9月3日	0252	533
0407	臨時所報(日本銀行函館出張所週報 (貸出および預金高の報告))	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年9月3日	0422	181
0408	書翰(小切手引換えに関する件)	末広町北海道機械網株式会社末富 孝次郎→酒谷長作	明治43年9月3日	1358	836
0409	書翰(時計催促の件)	大聖寺二宮朝→酒谷長作	明治43年9月6日	0222	514
0410	書翰(借入金金の件)	幸町小川支店→酒谷長作	明治43年9月7日	0253	534
0411	書翰(入金金の件)	小樽藤山要吉店大三鍼→酒谷長作	明治43年9月7日	0260	541
0412	不動産関係書類	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年9月7日	0424	183
0413	封筒	弁天町浜根岸太郎商店→酒谷	明治43年9月8日	0232	
0414	書翰(送金の件)	末広町北海道機械網株式会社→酒 谷商店	明治43年9月8日	0251	532
0415	臨時所報(督促命令、請求訴訟)	東京興信所函館出張所→	明治43年9月8日	0406	165
0416	土地売買関係書類(土地拝借の儀報 告)	今井広次他→小樽区松田商店	明治43年9月8日	1041	259
0417	書翰(大阪電灯株の件等)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年9月9日	0237	521
0418	書翰(借金利息精算の件)	橋谷→酒谷且那	明治43年9月10日	0247	530
0419	臨時所報(共栄倉庫紛擾の件等)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年9月10日	0421	180
0420	臨時所報(営業および廃業届出状況)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年9月12日	0420	179
0421	書翰(近況報告)	小塩酒谷イヨ→酒谷長作	明治43年9月13日	0223	515
0422	封筒	末広町北海道機械網株式会社→酒 谷長作	明治43年9月14日	0235	
0423	臨時所報(不動産書入、抹消等)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年9月14日	0416	175
0424	最近北海道留萌港市街地圖(著作兼 発行者北海道留萌港八間道路藤井清 太郎)		明治43年9月15日	1317	
0425	臨時所報(不動産売)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年9月16日	0418	177
0426	臨時所報(不動産書入、抹消等)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年9月17日	0419	178
0427	臨時所報(択捉島の鱒漁に就て等)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年9月20日	0415	174
0428	第三銀行株主関係書類(第三銀行新 株募集広告)	東京市株式会社第三銀行→酒谷長 作	明治43年9月21日	0249	
0429	書翰(借入金返済期日猶予願いの件)	小樽藤山要吉店大三鍼→酒谷長作	明治43年9月21日	0259	540
0430	書翰(増谷平太郎妻死去、久保彦松 容態悪化、伊予鉄道株式購入支払の 件等)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年9月22日	0261	542
0431	書翰(小福丸着船等の件)	小塩橋本五郎平→酒谷長作	明治43年9月23日	0254	535
0432	臨時所報(青森倉庫会社に就きて)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年9月23日	0407	166
0433	ハガキ(時計催促の件)	大聖寺二宮朝→酒谷長作	明治43年9月24日	0221	513
0434	書翰(煙草払受代金の件)	久保彦一→酒谷若御主人	明治43年9月24日	0258	539
0435	書翰(送金の件)	久保彦一→酒谷長作	明治43年9月26日	0250	531
0436	通知書(日本海上運送火災保険 (株) 定時及臨時株主総会)	酒谷小三郎→酒谷長作	明治43年9月27日	0229	142
0437	東京興信所函館出張所報告(桂久蔵 対樺太漁業株式会社について他)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年9月27日	0425	184
0438	ハガキ(兄彦松の死去、葬式の知ら せ)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年9月28日	0242	525
0439	書翰(煙草払下金立替のお礼、(キュー ル) 兄の死去の件)	久保彦一→酒谷長作	明治43年9月28日	0246	529
0440	臨時所報	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年9月28日	0408	167

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0441	書翰(支払期日の猶予について)	末広町北海道機械網株式会社→	明治43年9月30日	0731	733
0442	書翰(資本金増加に対する募集案内)	株式会社第三銀行頭取安田善四郎 →酒谷長作	明治43年9月	0233	
0443	書翰(帝国海事学校設立趣旨、帝国 海事会への入会案内)	帝國海事会→酒谷長作	明治43年10月1日	0248	
0444	臨時所報(漁業家小林栄次郎財産競 売について)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年10月1日	0412	171
0445	書翰(樺太海業株式会社の件)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年10月1日	0417	176
0446	通知(漁業料納付方ノ義ニ付漁業料 納付について樺太庁の電報の件)	富岡町樺太建網漁業水産組合連合 会→酒谷長作	明治43年10月2日	1185	845
0447	書翰(大聖寺川電灯、大阪電灯、伊 予鉄道株振込みの件等)	酒谷長一郎→	明治43年10月3日	0263	544
0448	臨時所報(共栄倉庫ニ就テ)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年10月3日	0410	169
0449	電報(「ブジキタ」)	七ウラ→サカヤチヨサク	明治43年10月4日	0236	
0450	書翰(借金返済方法の件)	小樽藤山要吉→酒谷長作	明治43年10月4日	0239	523
0451	臨時所報(株式会社第三銀行新株応 募について)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年10月4日	0405	164
0452	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治43年10月5日	0225	517
0453	臨時所報(青木光次郎について)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年10月5日	0411	170
0454	書翰(拝借金小切手にて同封の件)	弁天町浜根岸太郎商店→酒谷	明治43年10月7日	0244	527
0455	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治43年10月8日	0224	516
0456	ハガキ(昆布の入荷と価格について)	尾道食塩方七浦丸岩松→御主人	明治43年10月9日	1197	746
0457	書翰(第三期漁業料の件)	富岡樺太建網漁業水産組合連合会 →酒谷長作	明治43年10月11日	1180	736
0458	封筒	日本海上運送火災保険(株)→酒谷小 三郎	明治43年10月12日	1182	
0459	書翰(橋立御内宅へ小包送付の件)	小浜酒谷小三郎宅→酒谷長作	明治43年10月13日	1205	754
0460	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治43年10月15日	0226	518
0461	書翰(商況が不振の為銀行預金利息 が低迷の報告)	大阪井上直蔵→酒谷長作	明治43年10月16日	1193	742
0462	ハガキ(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治43年10月17日	0228	520
0463	書翰(営業所新築移転の通知書)	船場町株式会社二十銀行函館支店 →酒谷長作	明治43年10月18日	1218	765
0464	書翰(昆布売買値についての報告)	尾道在七浦丸岩松→御主人	明治43年10月20日	1192	741
0465	書翰(手形受取の件他)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年10月21日	1207	756
0466	書翰(叔父への近況報告)	新居浜住友合宿所増谷平八→酒谷 長作	明治43年10月22日	1206	755
0467	書翰(土産の礼状と近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治43年10月23日	1194	743
0468	書翰(足袋買い入れの願い)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治43年10月25日	1202	751
0469	ハガキ(昆布の礼状)	橋立村酒谷長二宅→酒谷長作	明治43年10月26日	1181	737
0470	書翰(近況報告と昆布入手お礼)	橋立増谷平吉→酒谷長作	明治43年10月26日	1208	757
0471	書翰(借金返済方法について)	地藏町荻野清六→酒谷長作	明治43年10月30日	1190	739
0472	書翰(出資金利子と預り書の件)	平出商店→酒谷御主人	明治43年10月30日	1204	753
0473	勸業債券募集申込関係(日本勸業銀 行発行の債券募集に対する申込要領 について)	東浜町株式会社第三銀行函館支店 →酒谷長作	明治43年10月	0240	
0474	日本製鋼社債広告社債申込み書	東浜町(株)第三銀行函館支店→ 酒谷長作	明治43年10月	1188	
0475	総会開催通知関係(通常総会議案と 臨時総会議案)	富岡町樺太西海岸建網漁業水産組 合→酒谷長作	明治43年10月	1226	772

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0476	樺太西海岸建網漁業水産組合関係書類(樺太西海岸建網漁業水産組合第2回通常総会第4回臨時総会議事録)	樺太西海岸建網漁業水産組合→	明治43年10月	1324	
0477	ハガキ(身欠等の荷入手他)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年11月1日	1217	764
0478	書翰(大阪製綿会社の株請取の件)	大阪井上直蔵→酒谷長作	明治43年11月5日	1199	748
0479	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治43年11月7日	1203	752
0480	書翰(預かり小切手の件)	黒川治助他→酒谷長作	明治43年11月7日	1219	766
0481	書翰(証書と小切手在中の旨)	地蔵町佐々木定吉黒川治助→平出店	明治43年11月7日	1220	767
0482	書翰(小福丸の売買に関する報告)	宮本商店→宮本■吉	明治43年11月7日	1224	770
0483	電報(小福丸について)	ハンダテヤマサ→サカヤチヨウサク	明治43年11月9日	1213	760
0484	帆船売買仮契約証(帆走船小福丸総屯数161屯28)	東浜町石塚彌太郎→酒谷長一郎	明治43年11月10日	0500	851
0485	領収書(帆走船小福丸総屯数161屯28)	東浜町石塚彌太郎→酒谷長一郎	明治43年11月11日	0499	845
0486	書翰(小福丸商談、七浦丸帰村、売船の件等)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年11月13日	0238	522
0487	書翰(入隊報告)	小塩村吉野由蔵→酒谷長作	明治43年11月14日	1215	762
0488	書翰(代金支払通知)	北海道機械網株式会社末富孝治郎→酒谷	明治43年11月14日	1340	831
0489	書翰(資金運用先の予定報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年11月17日	1200	749
0490	ハガキ(暴風の損害について)	江差久保彦一→酒谷長作	明治43年11月18日	1198	747
0491	書翰(七浦丸船頭休業願い)	加賀浜佐三嶋岩松→御主人	明治43年11月25日	1201	750
0492	ハガキ(商売関係報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年11月25日	1216	763
0493	書翰(運用報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治43年12月1日	1214	761
0494	ハガキ(書留便同封の請書)	大阪井上直蔵→酒谷長作	明治43年12月2日	1191	740
0495	ハガキ(万事今井に依頼する旨)	戸井出先宮本源吉→酒谷長作	明治43年12月3日	1196	745
0496	書翰(公債の時価調べの報告)	江差久保彦一→酒谷長作	明治43年12月5日	1209	758
0497	ハガキ(出張の帰宅の件)	七飯村木下→酒谷長作	明治43年12月6日	1225	771
0498	書翰(横領罪告訴の経過報告書)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年12月	1195	744
0499	書翰(金円受領の件)	長谷川→大井	明治43年月21日	1221	768
0500	封筒	鶴岡町東出商店→酒谷	明治43年	0234	
0501	臨時所報(函館精米株式会社決算)	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治43年	0409	168
0502	利息明細書	仲浜町株式会社函館塩販賣所→酒谷長一郎	明治43年	0878	
0503	封筒(酒谷軍平千円也)		明治43年	0881	
0504	書翰(入院中のお礼と退院通知)	小塩イヨ→旦那	明治43年	0890	
0505	封筒		明治43年	1183	
0506	封筒	東出→酒谷	明治43年	1212	
0507	書翰(元金と公債利子明細の件)	久保彦一→酒谷長作	明治44年4月24日	0446	205
0508	西野頼太郎関係書類(株券処分委任承諾証書)	幌泉米田サヲ他→西野頼太郎	明治44年4月27日	0950	333
0509	西野頼太郎関係書類(念書)	西野頼太郎他→酒谷小三郎後見人酒谷長作	明治44年4月27日	0952	335
0510	西野頼太郎関係書類	幌泉汽船他→酒谷長作	明治44年4月30日	0951	334
0511	書翰(子供達の様子と子供の手紙)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治44年5月30日	0454	212
0512	書翰(専売局より塩、煙草元売捌個人営業の依頼)	久保彦一→酒谷長作	明治44年5月31日	0444	203
0513	ハガキ(磯谷、礼文の商況報告)	町ノ方七浦岩松→御主人	明治44年6月1日	0433	192
0514	書翰(相場の報告と指図願い)	小樽町野清左衛門方七浦丸岩松→御主人	明治44年6月1日	0450	209
0515	ハガキ(小樽、磯谷、礼文の商況報告)	小樽町野清左衛門七浦丸岩松→御主人	明治44年6月1日	0427	186
0516	書翰(諸事項問い合わせと商況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治44年6月2日	0443	202
0517	書翰(米木六蔵の見本、価格の照会と来樽報告)	小樽町野清左衛門方七浦丸岩松→御主人	明治44年6月2日	0449	208

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0518	書翰(手形受取、樺太行き、大庭出張店に品物売行照会中の報告)	小樽野清左衛門方七浦丸岩松→酒谷長作	明治44年6月3日	0447	206
0519	書翰(水産会社鯨船鯨一頭捕獲, 第五勢至丸の座礁沈没の報告)	小樽野清左衛門七浦丸岩松→御主人	明治44年6月3日	0448	207
0520	書翰(借入金延期の願い)	合名会社鱒ヶ沢倉庫岩谷甚左衛門→酒谷長一郎	明治44年6月4日	0437	196
0521	ハガキ(商いの仕方、許可取付願い)	小樽七浦丸岩松→酒谷長作	明治44年6月6日	0429	188
0522	仮証(石油代送金)	道輸入取引商函館石油組合→酒谷商店	明治44年6月7日	1288	814
0523	書翰(礼文生産物の商況と値段報告)	東礼文香深米木六蔵→酒谷長作	明治44年6月8日	0442	201
0524	書翰(子供達の近況報告)	酒谷長一郎内他→酒谷長作	明治44年6月11日	0453	211
0525	書翰(三嶋岩松からの依頼品出荷と代金送金の依頼等)	小樽野清左衛門→酒谷長作	明治44年6月12日	0436	195
0526	ハガキ(粃の相場の件)	香深村米木出張所六蔵→酒谷長作	明治44年6月16日	0431	190
0527	ハガキ(商談打合の件)	七飯木下清次郎→酒谷長作	明治44年6月16日	0434	193
0528	書翰(荷物の送り状と近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治44年6月16日	0452	210
0529	書翰(安宅や小松の粃等の相場報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治44年6月17日	0451	213
0530	電報(樺太粃の件)	→(ヤマ)	明治44年6月19日	0430	189
0531	書翰(商取引の状況と寄銀砂入の報告)	から太野田寒出張店方七津丸岩松→酒谷長作	明治44年6月20日	0440	199
0532	書翰(選挙に関する納税のこと)	橋立村久保周三→酒谷長作	明治44年6月21日	0439	198
0533	ハガキ(出函おくれのお詫び)	江差久保彦一→御主人	明治44年6月22日	0435	194
0534	ハガキ(身欠の礼状)	橋立増谷平吉→酒谷長作	明治44年6月23日	0428	187
0535	書翰(身欠送付お礼と子供達の近況)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治44年6月23日	0438	197
0536	書翰(奉公人先の紹介依頼)	小樽中川勘吉→酒谷長作	明治44年6月23日	0441	200
0537	ハガキ(送金の件)	清水仁三郎方小福丸五作→酒谷長作	明治41年6月24日	1259	794
0538	書翰(決算報告の来社願い)	東浜町函館船具合資会社→酒谷	明治44年6月25日	0445	204
0539	仕切書(鯨粃の仕切)	樺太野田寒大庭出張店→酒谷商店	明治44年7月1日	0698	712
0540	仕切書(鱈粃の仕切)	樺太野田寒大庭出張店→酒谷商店	明治44年7月1日	0699	713
0541	仕切書(鯨粃とカレイ粃の仕切)	樺太野田寒大庭出張店→七浦丸三嶋岩松	明治44年7月1日	0700	714
0542	総会関係書類(定時総会開催通知他)	→函館船渠株式会社	明治44年7月4日	1176	
0543	封筒	船場町近藤孫三郎→酒谷	明治44年7月15日	0721	
0544	株式配当通知書	末広町株式会社函館銀行→酒谷長一郎	明治44年7月17日	1222	
0545	電報(「オネガイノインゼウイツキイルオクリクレシヤ」)	ヤ→サカイチョサク	明治44年7月20日	0716	727
0546	電報(「ブジキタ」)	七ウラ→(ヤマ)	明治44年7月28日	0717	728
0547	封筒	酒谷→近藤孫三郎	明治44年7月31日	0722	
0548	書翰(「時事新報壹萬號」についての案内)	時事新報社→酒谷長作	明治44年7月	0720	
0549	書翰(投資の件)	小樽吉竹屋三附加藤庄蔵→酒谷御商店御支配人	明治44年8月1日	1099	414
0550	書翰(子供達の近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治44年8月2日	0379	
0551	書翰(奉公先お世話依頼)	小樽中川勘吉→酒谷長作	明治44年8月5日	0394	
0552	書翰	酒谷長一郎→酒谷長作	明治44年8月7日	0374	
0553	ハガキ(近況報告および水害の件)	橋立増谷平吉→酒谷長作	明治44年8月8日	0399	
0554	書翰(暑中見舞)	新居浜増谷平八→酒谷長作	明治44年8月9日	0382	
0555	書翰(近況報告と息子世話方依頼)	江差久保彦一→酒谷長作	明治44年8月9日	0384	
0556	ハガキ(暑中見舞)	金沢二宮■作→酒谷長作	明治44年8月10日	0396	
0557	書翰	尾道食塩商会方七浦丸岩松→	明治44年8月11日	0383	
0558	書翰(所得決定および登記報告)	橋立村久保周三→酒谷長作	明治44年8月12日	0372	145
0559	ハガキ(暑中見舞)	橋立村酒■→酒谷長作	明治44年8月12日	0397	
0560	ハガキ(暑中見舞)	新舞鶴町新井場商店→酒谷長作	明治44年8月12日	0401	
0561	ハガキ(在函中の厚遇に対する礼状)	紗那郡促別飛沢村石津力太郎→酒谷長作	明治44年8月13日	0432	191
0562	書翰(残暑見舞)	橋本五郎平→酒谷長作	明治44年8月17日	0386	

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0563	ハガキ(出船報告と粕値段について)	竹原会社方七浦丸岩松→酒谷長作	明治44年8月21日	0402	
0564	書翰(荷物の値段報告)	橋立村久保周三→酒谷長作	明治44年8月23日	0388	
0565	臨時株主関係書類	酒谷長一郎→酒谷長作	明治44年8月23日	0404	
0566	書翰(近況報告、送金依頼)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治44年8月24日	0378	
0567	書翰	東京株式会社第一銀行→酒谷長作	明治44年8月24日	0385	
0568	書翰(利子送付の件)	江差久保彦一→酒谷長作	明治44年8月25日	0387	
0569	書翰(荒井五郎右衛門解雇通知)	小樽西谷回漕店店主西谷庄八→酒谷長作	明治44年8月29日	0389	
0570	ハガキ(到着通知)	鰯ヶ沢在七浦丸岩松→御主人	明治44年9月3日	0400	
0571	ハガキ(病氣見舞と礼状)	大阪浜野商店内三嶋嘉右衛門→酒谷長作	明治44年9月4日	0403	
0572	ハガキ(海鼠、干鮑売買の件)	久保彦一→酒谷長作	明治44年9月6日	0398	
0573	電報(到着通知)	七浦丸岩松→サカヤチヨウサク	明治44年9月8日	0391	552
0574	ハガキ(送金依頼、病状報告)	天神町山形知岳方芦野保太郎→久保彦一	明治44年9月10日	0373	
0575	ハガキ(保太郎出立遅れの件)	久保彦一→酒谷長作	明治44年9月10日	0395	
0576	ハガキ	鰯ヶ沢倉庫方七浦丸岩松→御主人	明治44年9月13日	0393	
0577	書翰(近況報告および商売状況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治44年9月14日	1276	811
0578	書翰(近況報告)	酒谷小三郎→酒谷御商店	明治44年9月16日	0380	
0579	書翰	合名会社鰯ヶ沢倉庫方七浦丸岩松→御主人	明治44年9月17日	0370	143
0580	電報(出船連絡)	七浦丸岩松→サカヤチヨウサク	明治44年9月18日	0392	553
0581	書翰(土地抵当権消滅決議書請求の件)	北海道旭川町鐵道院北海道建設事務所→酒谷長作	明治44年9月18日	1118	433
0582	書翰(病氣見舞と近況報告)	増谷平吉→酒谷長作	明治44年9月19日	0376	
0583	書翰(病氣見舞と家庭状況の知らせ)	酒谷長一郎宅→酒谷長作	明治44年9月20日	0375	
0584	書翰(勘定振込願)	弁天町橋谷商店→酒谷長作	明治44年9月21日	0377	
0585	ハガキ(支店開設の通知)	釧路坂井トク→長作	明治44年9月23日	1165	
0586	ハガキ(商品送付通知)	久保彦一→酒谷長作	明治44年9月24日	1134	449
0587	書翰(彦作損害賠償裁判の件)	久保彦一→酒谷長作	明治44年9月27日	1135	450
0588	書翰(彦作損害賠償裁判の件)	久保彦一→酒谷長作	明治44年9月28日	1136	451
0589	書翰(彦作裁判の件)	久保彦一→酒谷長作	明治44年9月29日	1137	452
0590	書翰(彦作損害賠償裁判の件)	久保彦一→酒谷長作	明治44年9月30日	1138	453
0591	決算報告関係(株主総会委任状等)	北海道鐵道株式会社精算事務所→酒谷長一郎	明治44年9月30日	1174	
0592	書翰(株主通常総会通知)	樺太西海岸建網漁業水産組合組長鎌田文助→酒谷長作	明治44年10月2日	1113	428
0593	書翰(借入金、利子送金遅延の件)	小樽西谷庄八→酒谷長作	明治44年10月3日	1100	415
0594	書翰(借入金返済の件)	小樽藤山要吉店→酒谷長作	明治44年10月6日	1106	421
0595	ハガキ(配当金額訂正通知)	函館馬車鐵道株式会社→酒谷長一郎	明治44年10月7日	1175	
0596	書翰(船舶状況報告)	陸前国鮎川州遠藤鉄三郎方七浦丸岩松→酒谷長作	明治44年10月7日	1266	801
0597	書翰(貸金継続、直接交渉の依頼)	小樽西谷庄八→酒谷長作	明治44年10月8日	1101	416
0598	書翰(近況報告および商売状況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治44年10月8日	1274	809
0599	ハガキ(病氣見舞い)	金沢二宮十作他→酒谷長作	明治44年10月9日	1153	468
0600	ハガキ(出帆報告)	鮎川七浦丸岩松→御主人	明治44年10月10日	1127	442
0601	ハガキ(商用案内通知)	久保彦一→酒谷長作	明治44年10月10日	1139	454
0602	書翰(商売に関する詫状)	金沢二宮十作→酒谷長作	明治44年10月10日	1154	469
0603	書翰(樺太西海岸建網漁業水産組合議事項目変更の件)	富岡町樺太西海岸建網漁業水産組合鎌田文助→酒谷長作	明治44年10月11日	1114	429
0604	書翰(銀行へ入金の報告)	大阪井上直蔵→酒谷長作	明治44年10月12日	1146	461
0605	書翰(子供達の近況と子供の手紙)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治44年10月13日	1157	472
0606	東京興信所報	東京興信所函館出張所→酒谷長作	明治44年10月13日	1170	
0607	ハガキ(着船報告)	紀州下サ方七浦丸岩松→国御主人	明治44年10月14日	1128	443

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0608	ハガキ(礼状)	久保彦一→酒谷長作	明治44年10月16日	1140	455
0609	封筒	酒谷長作→井上直蔵	明治44年10月16日	1179	
0610	書翰(通常総会開催通知)	富岡町樺太西海岸建網漁業水産組合→酒谷長作	明治44年10月19日	1115	430
0611	ハガキ(災害見舞)	大阪井上直蔵→酒谷長作	明治44年10月19日	1147	462
0612	ハガキ(入金報告)	大阪井上直蔵→酒谷長作	明治44年10月20日	1148	463
0613	書翰(土地貸借関係)	小樽寺井平松方浜中市太郎→酒谷長作	明治44年10月21日	1102	417
0614	商用関係書類(久禮丸取引証文他)	久保彦一→酒谷長作	明治44年10月21日	1141	456
0615	ハガキ(出帆報告)	島上町藤井合名会社七浦丸岩松→酒谷長作	明治44年10月22日	1129	444
0616	ハガキ(昆布の礼状)	橋立酒谷長二内→酒谷長作	明治44年10月22日	1158	473
0617	書翰(昆布の礼状)	橋立増谷平吉→酒谷長作	明治44年10月23日	1103	418
0618	ハガキ(着荷お礼)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治44年10月23日	1159	474
0619	建網関係書類(縄漉改良に関する件)	富岡町樺太建網漁業水産組合連合会→酒谷長作	明治44年10月27日	1116	431
0620	ハガキ(身欠および粕の着荷お礼)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治44年10月27日	1160	475
0621	証(謝儀)	饗場→酒谷	明治44年10月30日	1166	
0622	ハガキ(商報告)	大阪三原■■様方七浦丸岩松→御主人	明治44年10月31日	1130	445
0623	書翰(家族の近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治44年11月1日	0201	
0624	書翰(七浦丸へ品物托送料状)	新居浜増谷平八→酒谷長作	明治44年11月3日	1104	419
0625	ハガキ(入金報告)	大阪井上直蔵→酒谷長作	明治44年11月4日	1149	464
0626	書翰(値段報告等)	小樽町野清左衛門七浦丸岩松→御主人	明治44年11月5日	0426	185
0627	ハガキ(甘納豆着荷お礼)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治44年11月6日	1161	476
0628	書翰(借金返済予のお願い)	森駅川上与左衛門→酒谷長作	明治44年11月8日	1105	420
0629	書翰(子供達の近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治44年11月9日	0194	
0630	書翰(報告書)	大阪井上直蔵→酒谷長作	明治44年11月9日	1150	465
0631	書翰(彦作損害賠償裁判の件)	久保彦一→酒谷長作	明治44年11月10日	1142	457
0632	書翰(会計報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治44年11月14日	1162	477
0633	ハガキ(かんざし送付依頼)	金沢二宮十作→酒谷長作	明治44年11月15日	1155	470
0634	書翰	西浜町田端半七→酒谷長作	明治44年11月21日	1167	
0635	四十四年度函館区納税者調	東京興信所函館出張所→	明治44年11月24日	1315	
0636	書翰(取引先各銀行の利息について)	大阪井上直蔵→酒谷長作	明治44年11月27日	1151	466
0637	書翰(近況報告および商売状況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治44年11月28日	1273	808
0638	ハガキ(合併通知)	函館馬車鉄道株式会社松山吉三郎→酒谷長一郎	明治44年11月29日	1168	
0639	ハガキ(株引替の件)	函館水電株式会社→酒谷長一郎	明治44年11月29日	1171	
0640	ハガキ(出函の際のお礼)	小樽広谷順吉→酒谷長作	明治44年12月1日	1112	427
0641	ハガキ(リンゴ差上げの件)	小樽広谷順吉→酒谷長作	明治44年12月4日	1110	425
0642	ハガキ(入金報告)	大阪井上直蔵→酒谷長作	明治44年12月5日	1152	467
0643	ハガキ(詫状)	小樽佐藤商店→酒谷長作	明治44年12月6日	1119	434
0644	書翰(病気見舞のお願い)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治44年12月6日	1163	478
0645	書翰(法要御案内)	浜崎治助→酒谷長作	明治44年12月8日	1108	423
0646	役員改選当選通知書	富岡町樺太建網漁業水産組合連合会→酒谷長作	明治44年12月11日	1117	432
0647	通知書(当座勘定残高照合並利息振替通知)	末広町株式会社百十三銀行→酒谷長作	明治44年12月11日	1172	
0648	書翰(公債と勸業債券の交換の義)	小樽佐藤商店→酒谷長作	明治44年12月12日	1120	435

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0649	ハガキ(公債払戻しの件)	久保彦一→酒谷長作	明治44年12月13日	1144	459
0650	書翰(弁護士報酬残金支払いの件等)	久保彦一→酒谷長作	明治44年12月14日	1145	460
0651	書翰(供託物件の件)	小樽佐藤一郎→酒谷長作	明治44年12月15日	1121	436
0652	西野頼太郎関係書類(幌泉運送組合株券の持主明細)		明治44年12月20日	0953	336
0653	官林近解除願(控)(北見・野付牛村所在林払下げ願書(図面付))	岡崎半治他→北海道庁長官石原健三	明治44年12月21日	0937	305
0654	對清國水産貿易視察復命書(樺太産塩蔵練の上海での試買結果)	佐々木繁太郎→	明治44年	1339	
0655	書翰(商売状況について)	町野商店方七浦丸岩松→酒谷長作	明治45年5月28日	1002	
0656	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治45年6月3日	0991	
0657	ハガキ(風邪の見舞と商談成立の報告)	小樽町野商店方七浦丸岩松→御主人	明治45年6月5日	0994	
0658	ハガキ(時候の挨拶)	新舞鶴町新井場商店清蔵→酒谷長作	明治45年6月5日	1007	
0659	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治45年6月8日	0995	
0660	ハガキ(出帆状況通知)	小樽町野方七浦丸岩松→	明治45年6月9日	0997	
0661	電報(「ブジキタナリユキカウ」)	発信局ノタサム七→(ヤマ)	明治45年6月14日	0022	492
0662	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治45年6月16日	0989	
0663	書翰(近況報告と身欠鯨のお礼)	新居浜増谷ぬよ→酒谷長作	明治45年6月18日	0998	
0664	書翰(近況報告と子供達の手紙)	(ガ、イマ)内→酒谷長作	明治45年6月19日	1000	
0665	電報(「マンセンアスデルイサイフミ」)	七→酒谷長作	明治45年6月24日	0020	490
0666	書翰(子供の健康状態と近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治45年6月27日	0196	
0667	ハガキ(写真送付依頼)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治45年7月1日	1008	
0668	書翰(商売状況について)	小樽町野清左エ門→酒谷長作	明治45年7月5日	1003	
0669	電報		明治45年7月8日	1004	
0670	電報(「ブジカセツヨクラクセン」)	発信局サイゴウ七→(ヤマ)	明治45年7月10日	0021	491
0671	書翰(金円要用の件)	久保彦一→酒谷長作	明治45年7月16日	0601	656
0672	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	明治45年7月19日	0990	
0673	ハガキ(出航状況報告)	ヲキ国西郷山根方七浦丸岩松→御主人	明治45年7月19日	0993	
0674	書翰(粕の相場、銀行配当領収証の発送と銀行の利息配当について)	酒谷長一郎→酒谷長作	明治45年7月27日	0999	
0675	ハガキ(暑中見舞)	香深村米木出張所木下六蔵→酒谷長作	大正1年7月31日	0567	622
0676	ハガキ(休暇で帰宅の報告)	橋立酒谷長二→長作	大正1年8月1日	0572	627
0677	ハガキ(着船報告)	尾道商会方七浦丸岩松→御主人	大正1年8月2日	0577	632
0678	書翰(長蔵の成績について)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正1年8月6日	0609	663
0679	書翰(近況報告)	根室内山■吉→酒谷長作	大正1年8月8日	0585	640
0680	ハガキ(暑中見舞)	久保彦一→酒谷長作	大正1年8月9日	0598	653
0681	記(債権残金に関するもの)	紋別中川芳雄→浜崎御商店	大正1年8月10日	0654	250
0682	書翰(函館公会堂での展覧会案内)	東京巽畫会本部→酒谷長作	大正1年8月12日	0536	
0683	ハガキ(無沙汰のお詫び)	大阪浜野商店三嶋嘉右衛門→酒谷長作	大正1年8月12日	0891	372
0684	西野頼太郎関係書類(借入金に関するもの)	西野頼太郎→酒谷小三郎	大正1年8月12日	0949	332
0685	書翰(礼状)	橋立増谷平吉→酒谷長作	大正1年8月15日	0596	651
0686	ハガキ(近況報告暑中見舞)	京都酒谷余三松→酒谷長作	大正1年8月17日	0565	620
0687	書翰(税金対策の回答)	橋立村久保周三→酒谷長作	大正1年8月17日	0586	641
0688	書翰(礼状)	小塩橋本五作内→酒谷且那	大正1年8月21日	0597	652
0689	ハガキ(日程通知)	越ヶ浜七浦丸岩松→酒谷長作	大正1年8月31日	0892	373
0690	書翰(上海出張所開設通知)	東京興信所上海出張所→酒谷長作	大正1年8月	0604	
0691	ハガキ(留萌築港視察の件)	留萌港旅館方第2部岡崎半治→酒谷長作	大正1年9月3日	0560	615
0692	釧路港實業要覽	釧路港実業倶楽部→	大正1年9月5日	1356	
0693	電報(「ブジヒナンシテヲル」)	七ウラ→(ヤマ)	大正1年9月9日	0556	614
0694	書翰(漁業、米作の現況報告)	小塩酒谷イヨ→酒谷長作	大正1年9月14日	0608	662

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名(内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0695	ハガキ(送り荷の件)	江差久保彦一→酒谷長作	大正1年9月15日	0582	637
0696	電報(「ブジヨヤクキタ」)	七ウラマル→(ヤマ)	大正1年9月17日	0554	612
0697	ハガキ(着船報告)	鯨ヶ沢在七浦丸若松→御主人	大正1年9月17日	0600	655
0698	書翰(七浦丸座礁の件、商用の件)	鯨ヶ沢倉庫方七浦丸岩松→御主人	大正1年9月20日	0620	674
0699	電報(「タイフ子フキケン」)	七ウラ→サカヤチヨサク	大正1年9月23日	0553	611
0700	封筒	小樽呉比長七→酒谷長作	大正1年9月24日	0540	
0701	電報(「ニヤクデキルつ子トアサドクツコサセ」)	→サカヤセウテン	大正1年9月24日	0549	607
0702	電報(「マキドグマキトウリニトモスク」)	七→サカヤセウテン	大正1年9月24日	0551	609
0703	電報(「つ子ハマアケシタヒトミナブジ」)	七ウ→サカヤチヨサク	大正1年9月24日	0552	610
0704	電報(「ニモツアケノチつネイタミフソクマキドクナイテハイテキルカ」)	→(ヤマ)	大正1年9月24日	0555	613
0705	書翰(七浦丸座礁の件)	鯨ヶ沢倉庫会社方七浦丸岩松→酒谷長作	大正1年9月24日	0619	673
0706	ハガキ(巻棟梁派遣のお願い)	七浦丸岩松→御主人	大正1年9月24日	0893	374
0707	電報(「イマキイタつ子デタカスへ」)	五→サカヤ	大正1年9月25日	0550	608
0708	書翰(大雨被害報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	大正1年9月25日	0583	638
0709	書翰(七浦丸遭難現状報告)	鯨ヶ沢倉庫方橋本五作→御主人	大正1年9月25日	0602	657
0710	ハガキ(七浦丸座礁の件)	在鯨ヶ沢港七浦丸田町長作→酒谷長作	大正1年9月25日	0894	375
0711	電報(「アゲニシタテアイチウ」)	七ウラ→(ヤマ)	大正1年9月26日	0546	604
0712	書翰(七浦丸座礁の件)	小塩浜谷惣吉→(か ^ろ イマチヨウ)	大正1年9月26日	0575	630
0713	書翰(大暴風雨による災害見舞)	酒谷小三郎→酒谷旦那	大正1年9月27日	0197	
0714	書翰(青森實業新報への記事依頼)	青森刊実業新報社→酒谷長作	大正1年9月28日	0539	
0715	書翰(七浦丸座礁の件)	鯨ヶ沢方七浦丸岩松→御主人	大正1年9月28日	0626	680
0716	財産目録他	大阪日本海上運送火災保険株式会社→酒谷小三郎	大正1年9月29日	0538	
0717	ハガキ(七浦丸遭難見舞)	大阪井上直蔵→酒谷長作	大正1年9月30日	0573	628
0718	書翰(七浦丸座礁の件)	江差町旅館方蔵谷与三次郎→酒谷長作	大正1年9月30日	0590	645
0719	ハガキ(出張に対する礼状)	幸町三輪竹次郎→鯨ヶ沢倉庫会社方酒谷長作	大正1年10月3日	0563	618
0720	ハガキ(積荷安否)	弁天町橋谷商店橋谷己之吉→鯨ヶ沢倉庫方酒谷長作	大正1年10月3日	0566	621
0721	書翰(集金報告)	岡崎→鯨ヶ沢倉庫会社方酒谷長作	大正1年10月3日	0579	634
0722	電報(「テンミタシコトヤメテマツ」)	七→サカヤチヨサク	大正1年10月6日	0548	606
0723	電報(「ヲロシハルニスルカワサキタツテ」)	→サカヤチヨサク	大正1年10月8日	0547	605
0724	ハガキ(七浦丸遭難見舞)	江差久保彦一→酒谷長作	大正1年10月8日	0580	635
0725	書翰(七浦丸遭難の見舞と暴風被害の件)	新居浜増谷平八→酒谷長作	大正1年10月8日	0599	654
0726	書翰(七浦丸座礁の件)	鯨ヶ沢七浦丸岩松→酒谷長作	大正1年10月8日	0624	678
0727	書翰(七浦丸座礁の件)	鯨ヶ沢方七浦丸岩松→御主人	大正1年10月8日	0625	679
0728	ハガキ(時化による被害報告)	鯨ヶ沢七浦丸岩松→御主人	大正1年10月9日	0895	376
0729	封筒	末広町函館海事工場事務所→酒谷商店	大正1年10月10日	0541	
0730	ハガキ(松茸送付の件)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正1年10月10日	0614	668
0731	書翰(七浦丸座礁の件)	鯨ヶ沢倉庫会社方七浦丸岩松→酒谷長作	大正1年10月12日	0622	676
0732	書翰(査定方針)	笹野栄吉→酒谷御主人	大正1年10月13日	0578	633
0733	書翰(三輪新吉転職の件)	大阪酒谷長平→酒谷長作	大正1年10月13日	0603	658
0734	当座貸越契約証書謄本	末広町株式会社函館銀行取締役徳根卯三郎→奥寺仁三郎	大正1年10月13日	0637	239
0735	書翰(七浦丸座礁の件)	三嶋岩松→酒谷長作他	大正1年10月14日	0623	677
0736	書翰(七浦丸座礁の件)	鯨ヶ沢七浦丸岩松→酒谷御主人	大正1年10月15日	0618	672
0737	書翰(七浦丸座礁の件)	鯨ヶ沢七浦丸岩松→御主人	大正1年10月15日	0621	675
0738	書翰(七浦丸遭難に関する見舞の件)	橋立増谷平吉→酒谷長作	大正1年10月16日	0592	647
0739	書翰(三輪新吉来状の件)	大阪酒谷→酒谷長作	大正1年10月16日	0616	670
0740	ハガキ(道中金未受納と月給について)	鯨ヶ沢在七浦丸岩松→御主人	大正1年10月16日	0896	377

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0741	ハガキ(送り荷一部紛失の件)	鯨ヶ沢在七浦丸岩松→御主人	大正1年10月20日	0897	378
0742	書翰(手当の件)	鯨ヶ沢七浦丸若松→御主人	大正1年10月21日	0576	631
0743	ハガキ(出張と船中出立の知らせ)	鯨ヶ沢在ル七浦丸岩松→御主人	大正1年10月22日	0898	379
0744	書翰(興次郎百三十銀行就職口利きの件)	大阪酒谷長平→酒谷長作	大正1年10月23日	0588	643
0745	ハガキ(出張と道具紛失の報告)	鯨ヶ沢倉庫方七浦丸岩松→御主人	大正1年10月23日	0899	380
0746	書翰((イゲタ仔)嫁取の件)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正1年10月25日	0615	669
0747	ハガキ(船中出立日程の報告)	鯨ヶ沢倉庫会社方七浦丸岩松→御主人	大正1年10月25日	0900	381
0748	書翰(七浦丸の件)	池田祐一郎→酒谷長作	大正1年10月30日	0564	619
0749	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正1年11月5日	0611	665
0750	ハガキ(大阪綿業株式会社配当金入金の件、大蔵証券償還の件)	大阪井上直蔵→酒谷長作	大正1年11月7日	0574	629
0751	書翰(米価の件)	加賀浜佐美三嶋岩松→御主人	大正1年11月10日	0594	649
0752	借用証	千島国紗那岩浅辰造→酒谷小三郎 後見人酒谷長作	大正1年11月12日	0641	243
0753	念証(借用関係)	室蘭栃原熊四郎→酒谷長作	大正1年11月14日	0964	347
0754	書翰(近況報告と子供達の手紙)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正1年11月18日	0612	666
0755	書翰(独立営業の件)	橋立増谷祐二→酒谷長作	大正1年11月19日	0591	646
0756	ハガキ(橋立出頭の伺い)	加賀浜佐美三嶋岩松→御主人	大正1年11月20日	0901	382
0757	東京興信所報	東京興信所函館出張所→酒谷長作	大正1年11月21日	0542	
0758	書翰(商用報告)	加賀能美郡浜佐美三嶋岩松→酒谷長作	大正1年11月25日	0595	650
0759	東京興信所報	東京興信所函館出張所→酒谷長作	大正1年11月27日	0543	
0760	東京興信所報	東京興信所函館出張所→酒谷長作	大正1年11月28日	0544	
0761	書翰(銀行の金利報告)	大阪井上直蔵→酒谷長作	大正1年11月29日	0587	642
0762	書翰(近況報告と子供達の件)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正1年11月30日	0617	671
0763	ハガキ(礼状)	橋立増田匠作→酒谷長作	大正1年12月1日	0561	616
0764	ハガキ(父死去に際しての礼状)	橋立泉藤蔵→酒谷長作	大正1年12月1日	0562	617
0765	ハガキ(昆布恵みに対するお礼)	橋立酒谷まれ→酒谷長作	大正1年12月1日	0613	667
0766	書翰(七浦丸遭難見舞)	大阪三原造船鉄工所三原万之助→ 酒谷長作	大正1年12月2日	0589	644
0767	郵便物受領証	酒谷長作→三嶋岩松他	大正1年12月4日	1326	
0768	書翰(定期預金の報告)	大阪井上直蔵→酒谷長作	大正1年12月5日	0069	53
0769	郵便物配達証明書	→酒谷長作	大正1年12月5日	0537	
0770	封筒	地蔵町佐々木定吉→酒谷長作	大正1年12月9日	0559	
0771	金貸借契約証書謄本	岡崎半治→遠藤はな	大正1年12月9日	0640	242
0772	書翰(大村よりの書翰の回覧について)	仲浜町山本己之助→酒谷	大正1年12月13日	0606	660
0773	書翰(平安養子縁組の件)	橋立増谷平吉→酒谷長作	大正1年12月14日	0605	659
0774	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正1年12月16日	0610	664
0775	電報(「二五七トウケイホライヤオル」)	→チョサク	大正1年12月23日	0545	603
0776	金貸借関係	岡崎半治→新保辰次郎	大正1年12月30日	0645	247
0777	書翰(近況報告と裁判の件)	橋立久保彦助→酒谷長作	大正1年12月30日	0906	258
0778	ハガキ(年賀状)	加賀片山津東出鉄→酒谷長作	大正2年1月1日	0535	
0779	書翰(裁判控訴の件等)	橋立久保彦助→酒谷長作	大正2年1月3日	0471	573
0780	書翰(訴訟敗訴見舞他)	橋立増谷平吉→酒谷長作	大正2年1月11日	0461	563
0781	ハガキ(礼状)	橋立増谷平作→酒谷長作	大正2年1月12日	0569	624
0782	書翰(事件および寒中見舞)	酒谷小三郎→酒谷長作	大正2年1月14日	0483	585
0783	書翰(葛西・末富の件について)	末広町北海道機械網株式会社末富 孝治郎→酒谷長作	大正2年1月15日	0472	574
0784	書翰(山田事件敗訴見舞等)	はし立に而増谷祐二→酒谷長作	大正2年1月15日	0478	580
0785	書翰(同封書翰一読後返却の件)	船場町近藤合資会社→酒谷長作	大正2年1月18日	0479	581
0786	書翰(訴訟敗訴に対する激励、大阪電灯配当金の件等)	大阪井上直蔵→酒谷長作	大正2年1月21日	0468	570
0787	書翰(滞函中の酒谷長作に送金の通知)	久保彦一→酒谷長作	大正2年1月25日	0476	578
0788	ハガキ(近況報告)	橋立増谷平作→酒谷長作	大正2年1月26日	0570	625
0789	書翰(遠藤と佐藤への仲裁依頼等)	酒谷商店→酒谷長作	大正2年1月28日	0484	586
0790	書翰(函館銀行株主定時総会配当原案変更決議通知の件)	小塩五作他→御主人	大正2年1月29日	0485	587

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0791	書翰(加藤・矢崎の動向報告)	大阪山本葉那方橋谷巳之吉→酒谷長作	大正2年1月30日	0459	561
0792	書翰(大金の贈与に対するお礼等)	橋立増谷ヌヨ→酒谷長作	大正2年1月31日	0475	577
0793	書翰(函館銀行株主配当領収の件)	小塩橋本五作→酒谷長作	大正2年1月31日	0481	583
0794	書翰(裁判に関わる件)	大阪築港千珠丸にて橋谷巳之吉→酒谷長作	大正2年2月1日	0460	562
0795	書翰(裁判に関わる件)	小塩酒谷小三郎宅→御主人	大正2年2月9日	0482	584
0796	書翰(電気点灯およびイルミネーションの件)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正2年2月13日	0465	567
0797	ハガキ(学校に関する近況報告)	金沢酒谷長二→酒谷長作	大正2年2月13日	0568	623
0798	ハガキ(政談演説会ご来聴の案内)	春日町福田高明→酒谷長作	大正2年2月14日	0902	383
0799	書翰(七浦丸座礁作業進捗状況)	石川浜佐美三嶋岩松→酒谷長作	大正2年2月15日	0462	564
0800	貸金関係書類		大正2年2月18日	0628	230
0801	通知書(友染勇吉に対する支払命令書の送付通知書)	函館区裁判所裁判所書記新谷徳三→酒谷小三郎後見人酒谷長作	大正2年2月20日	0913	281
0802	ハガキ(帰着報告)	橋立村久保彦一→酒谷長作	大正2年2月21日	0581	636
0803	書翰(鯨ヶ沢における七浦丸離礁作業入用品見込額について)	石川浜佐美三嶋岩松→酒谷長作	大正2年2月22日	0463	565
0804	書翰(示談継続の件)	船場町近藤孫三郎→小樽林旅館酒谷長作	大正2年2月27日	0076	60
0805	書翰(寿町松岡陸三次男死去に伴う香典返し不配に対する詫状)	末広町風月堂田村松五郎→酒谷長作	大正2年2月	0943	
0806	友染勇吉債務物件関係	友染勇吉代金曾幾太郎他→酒谷長作他	大正2年3月6日	0959	342
0807	漁業権競売関係	浦河区裁判所→柴野丈助	大正2年3月11日	0945	328
0808	書翰(船の売却の件)	石川県浜佐美三嶋岩松→酒谷長作	大正2年3月16日	0456	558
0809	書翰(同封書翰一読後返却の件)	近藤→酒谷	大正2年3月17日	0480	582
0810	ハガキ(滞函中のお礼および帰宅通知)	久保彦一→酒谷長作	大正2年3月17日	0905	257
0811	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正2年3月17日	0908	277
0812	支拂命令書(友染勇吉に対する支払命令書)	函館区裁判所執達吏沼倉直敏→酒谷小三郎	大正2年3月17日	0914	282
0813	約束手形	美幌合資会社薄田商店代表員薄田権蔵他→酒谷長作	大正2年3月19日	0629	231
0814	書翰(醬油店譲渡、山田事件の件)	小塩桑崎半治→酒谷長作	大正2年3月26日	0473	575
0815	支払命令書(函館裁判所が出した支払命令)	酒谷小三郎→梶谷萬次郎	大正2年3月28日	0975	316
0816	書翰(挨拶状)	小塩西原重■門→酒谷長作	大正2年3月29日	0474	576
0817	送達状(酒谷長作に出した電話使用権仮差押の執行命令書)	函館区裁判所裁判所書記新谷徳三→酒谷小三郎	大正2年3月29日	0972	313
0818	書翰(七浦丸座礁作業の件)	石川浜佐美七浦丸岩松→酒谷長作	大正2年3月30日	0464	566
0819	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正2年3月31日	0909	278
0820	書翰(香典寄附の件)	西浜町久保權四郎→酒谷長作	大正2年3月	0944	
0821	ハガキ(干鰯送付の件)	小塩橋本五作宅→	大正2年4月1日	0571	626
0822	ハガキ(作事用品の購入)	大阪山本熊吉方三嶋岩松→酒谷長作	大正2年4月4日	0903	384
0823	書翰(裁判結果の報告等)	古平町広谷順吉→酒谷長作	大正2年4月9日	0458	560
0824	ハガキ(作事用品の調達)	大阪三嶋岩松→御主人	大正2年4月10日	0904	385
0825	書翰(大阪係留船舶の船下ろしの件)	加賀浜佐美三嶋岩松→御主人	大正2年4月12日	0457	559
0826	金円貸借契約証書謄本	酒谷長作→友染勇吉他	大正2年4月15日	0646	248
0827	書翰(近況報告)	橋立久保彦助→酒谷長作	大正2年4月15日	0907	262
0828	書翰(近況報告と子供達の手紙)	酒谷長一郎内→酒谷父上	大正2年4月15日	1289	815
0829	書翰(身元証明願)	酒谷長作→熊石村役場	大正2年4月16日	0466	568
0830	書翰(万歳丸曳上と船の手続き依頼)	鯨ヶ沢倉庫会社方七浦丸岩松→酒谷御主人 橋本五作	大正2年4月27日	0067	51
0831	ハガキ(貸金回収の件)	小塩岡崎半治→酒谷長作	大正2年4月27日	0081	65
0832	書翰(函館駅周辺火災の報告)	幸町三輪竹次郎→酒谷長作	大正2年5月4日	0075	59
0833	裁判関係書類(仮処分可否口頭弁論呼出し放任の報告)	船場町近藤孫三郎→酒谷長作	大正2年5月6日	0073	57
0834	書翰(函館大火の見舞、鍊買付金借用の件)	江差久保彦一→酒谷長作	大正2年5月6日	0156	

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0835	書翰(若松町停車場付近出火の報告)	西原商店→酒谷長作	大正2年5月9日	0074	58
0836	書翰(大火損害状況と江差久保への送金の件)	半治→橋立村酒谷長治	大正2年5月9日	0079	63
0837	書翰(大火と検査証書、検査手帳等受取りの報告)	西浜町酒谷方五作→酒谷長作	大正2年5月10日	0078	62
0838	ハガキ(大火と検査証書、検査手帳等受取りの報告)	江差久保彦一→酒谷長一郎	大正2年5月10日	0155	
0839	書翰(大火義損金の寄附)	→酒谷長作	大正2年5月11日	0077	61
0840	ハガキ(高橋文五郎弁護士逃走の件)	弁天町橋谷己之吉→酒谷長作	大正2年5月15日	0080	64
0841	書翰(受取持参願い)	橋立久保彦助→酒谷長作	大正2年5月16日	0071	55
0842	書翰(樺太仮処分事件、佐藤方勝利の報告)	船場町五近藤孫三郎→酒谷長作	大正2年5月16日	0072	56
0843	ハガキ(曳御の状況報告)	鱒ヶ沢在七浦丸岩松→御主人	大正2年5月24日	0086	842
0844	書翰(大波による船の被害)	鱒ヶ沢在七浦丸岩松→酒谷長作	大正2年5月25日	0065	49
0845	ハガキ(品物受取の返事)	久保彦一→酒谷長作	大正2年5月26日	0047	31
0846	ハガキ(新吉への指導願い)	橋立酒谷惣太郎→酒谷長作	大正2年5月28日	0044	28
0847	書翰(座礁船救出対策の件)	鱒ヶ沢在七浦丸岩松→御主人	大正2年5月28日	0064	48
0848	書翰(座礁に関する報告)	鱒ヶ沢在七浦丸岩松→御主人	大正2年5月31日	0061	45
0849	書翰(仮処分大審院の判決写拝借願)	近藤→酒谷長作	大正2年5月31日	0108	
0850	ハガキ(品物受領と当地鯨類高値の報告)	久保彦一→酒谷長作	大正2年6月1日	0049	33
0851	ハガキ(出頭できない理由説明)	鱒ヶ沢七浦丸岩松→御主人	大正2年6月2日	0083	839
0852	資材売却書類	鱒ヶ沢在七浦丸岩松→御主人	大正2年6月3日	0062	46
0853	書翰(公債証明の利札送りの件)	久保彦一→酒谷長作	大正2年6月4日	0060	44
0854	書翰(欠席判決写し依頼)	勝田方山田茂吉→酒谷長作	大正2年6月4日	0070	54
0855	書翰(諸事報告の件)	鱒ヶ沢七浦丸岩松→酒谷長作	大正2年6月5日	0058	42
0856	ハガキ(発動船出帆の報告)	鱒ヶ沢七浦丸岩松→酒谷商店	大正2年6月5日	0085	841
0857	封筒	田端→酒谷	大正2年6月5日	0107	
0858	書翰(定期預金に関する件)	井上直蔵→酒谷長作	大正2年6月5日	0154	228
0859	公正証書(金圓貸借契約証書謄本)	会所町公証人横山吉四郎→酒谷小三郎後見人酒谷長作	大正2年6月5日	0935	303
0860	書翰(判決書正写返却の報告)	小樽山田茂吉→酒谷長作	大正2年6月6日	0066	50
0861	ハガキ(値段暴落の報告)	鱒ヶ沢七浦丸岩松→酒谷長一郎	大正2年6月6日	0082	840
0862	ハガキ(礼状)	久保彦一→酒谷長作	大正2年6月12日	0048	32
0863	書翰(三回忌の招待状)	浜崎治助→酒谷長作	大正2年6月12日	0063	47
0864	書翰(粕値の安い樺太行き報告)	小樽町野清左右衛門方三しま→酒谷長作	大正2年6月13日	0059	43
0865	書翰(手形入手と上粕、羽鯨相場の連絡)	小樽町野清左右衛門方七浦丸岩松→酒谷長作	大正2年6月15日	0057	41
0866	書翰(手術の結果報告)	東京金堀病院内西野清太郎→酒谷御主人	大正2年6月17日	0105	
0867	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正2年6月25日	0102	
0868	書翰(礼状)	小塩山岸重三郎→酒谷長作	大正2年6月28日	0103	
0869	書翰(為替の件)	井上直蔵→若御主人	大正2年6月30日	0054	38
0870	利札領収証書	株式会社函館銀行→酒谷	大正2年6月	0106	
0871	書翰(仏壇受領の件)	橋立増谷平吉→酒谷長作	大正2年7月1日	0055	39
0872	当座勘定入金票	株式会社第一銀行函館支店→酒谷商店	大正2年7月1日	1021	
0873	書翰(仏壇受領礼状)	増谷平作→酒谷長作	大正2年7月2日	0053	37
0874	書翰(小三郎分営業税標準額、貸金登記抹消、謄本送付の依頼)	橋立村久保周三→酒谷長作	大正2年7月4日	0056	40
0875	ハガキ(商況の動きと余金の処置願い)	カラ太七浦丸岩松→酒谷長作	大正2年7月4日	0087	838
0876	書翰(近況報告と子供達の手紙)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正2年7月4日	0104	
0877	承諾書(定期預金の処分を承諾の件)	酒谷小三郎後見人酒谷長作→専賣局	大正2年7月7日	0923	291
0878	書翰(再入院の依頼)	東京佐野内科病院内西野清太郎→酒谷長作	大正2年7月8日	0052	36
0879	米木六右衛門関係書類(抵当物差入証書他)	樺太米木六右衛門→酒谷小三郎	大正2年7月9日	0632	234
0880	ハガキ(商売取引の問い合わせ)	橋立村(カキイマサ)→酒谷長作	大正2年7月10日	0046	30
0881	承諾書(塩売捌の件)	酒谷小三郎後見人酒谷長作→専賣局	大正2年7月11日	0926	294
0882	書翰(来函遅れのお詫び)	久保彦一→酒谷長作	大正2年7月17日	0051	35
0883	書翰(暑中見舞)	橋立泉藤蔵→酒谷長作	大正2年7月24日	0089	
0884	書翰(株主総会の件)	酒谷長一郎→酒谷長作	大正2年7月25日	0100	

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0885	書翰(樺太柏見本に対する所見)	酒谷長一郎→長作	大正2年7月27日	0099	
0886	鯨漁業免許状(幌泉郡鹿野村字ルーラン建網)	浦河支庁→	大正2年7月29日	1037	
0887	ハガキ(葬儀の通知書)	七飯村木下清次郎→酒谷長一郎	大正2年7月30日	0088	
0888	書翰	酒谷→増谷祐二	大正2年7月31日	0098	
0889	書翰(株式会社函館銀行定時総会および臨時総会委任の件)	酒谷長一郎→長作	大正2年7月	0101	
0890	ハガキ(時候のあいさつ等)	増谷平作→酒谷長作	大正2年8月3日	0038	22
0891	書翰(樺太から尾道までの航海と商況の報告)	尾道食塩商会方七浦丸岩松→酒谷長作	大正2年8月5日	0050	34
0892	書翰(訴訟に関する報告)	岡崎半次→酒谷商店	大正2年8月5日	0090	
0893	書翰(近況報告)	久保彦一→酒谷長作	大正2年8月5日	0091	
0894	ハガキ(近況報告)	新居浜増谷平八→酒谷長作	大正2年8月6日	0043	27
0895	書翰(時候あいさつと商用の件)	橋立増谷平吉→酒谷長作	大正2年8月7日	0097	
0896	ハガキ(橋立行昆布送付の伺い)	香深村米木出張所六蔵→酒谷長作	大正2年8月8日	0042	26
0897	ハガキ(安値のため揚置の報告)	尾道七浦丸岩松→御主人	大正2年8月8日	0084	
0898	書翰(送金に対する礼状)	小塩橋本五作宅→酒谷長作	大正2年8月8日	0092	
0899	書翰(長蔵、長英の近況)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正2年8月11日	0093	
0900	書翰(子息対応に対する礼状)	安宅町浜中三郎平→酒谷長作	大正2年8月11日	0094	
0901	書翰(岩内出張の件)	小沢駅にて広谷順吉→酒谷長作	大正2年8月15日	0095	
0902	書翰(商用および近況報告)	尾道七浦丸岩松→酒谷御主人	大正2年8月17日	0096	
0903	書翰(上地売買の件)	橋立村久保周三→酒谷長作	大正2年8月24日	0162	
0904	貸金関係書類	平取村築瀬英司→酒谷小三郎	大正2年8月25日	0627	229
0905	所得額決定通知書類	大聖寺税務署長税務署属今永常治郎→酒谷小三郎	大正2年8月25日	0653	
0906	書翰(銀行関係の打合せの件)	酒谷長一郎→酒谷長作	大正2年8月27日	0139	214
0907	催告書(貸金の支払期日切迫の通知)	酒谷長作→大畑村佐藤五郎松	大正2年8月	0927	295
0908	書翰(借入金送金の件)	江差久保彦一→酒谷長作	大正2年9月2日	0157	
0909	書翰(収穫届に関して)	小樽広谷順吉→酒谷長作	大正2年9月2日	1109	424
0910	借入金関係書類(連帯借用人の念証)	平取村築瀬英司→酒谷小三郎	大正2年9月6日	0635	237
0911	書翰(水田購入資金融通依頼の件)	小樽呉比長七→酒谷長作	大正2年9月7日	0169	
0912	書翰(稲荷社例祭執行の案内)	船見町平出喜三郎→酒谷長作	大正2年9月8日	0182	
0913	書翰(子供達近況報告と荷物受領の件)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正2年9月10日	0144	219
0914	書翰(保太郎に関する状況報告)	江差久保彦一→酒谷長作	大正2年9月10日	0150	224
0915	書翰(落船案内)	ヲキ国大山下七浦丸岩松→酒谷長作	大正2年9月10日	1132	447
0916	書翰(訴訟事件の経過について)	橋立増谷平吉→酒谷長作	大正2年9月11日	0148	222
0917	封筒	酒谷小三郎宅→御主人	大正2年9月11日	0186	
0918	書翰(送金通知御案内)	久保彦一→酒谷長作	大正2年9月13日	1071	388
0919	書翰(水田視察の件)	小樽呉比長七→酒谷長作	大正2年9月17日	0170	
0920	書翰(七浦丸教賀入港の件等)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正2年9月18日	0146	220
0921	書翰(酒谷新吉遭難お見舞いの件等)	小塩浜谷惣吉→酒谷長作	大正2年9月18日	0152	226
0922	証明書(木材委託販売手数料額の証明書)	函館木材問屋同業組合組長本間四郎治→酒谷商店	大正2年9月22日	0930	298
0923	書翰(新吉遭難の件)	大阪市西区南堀三丁目酒谷→酒谷長作	大正2年9月23日	0177	
0924	封筒	酒谷小三郎→酒谷長作	大正2年9月23日	0185	
0925	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正2年9月24日	0163	
0926	書翰(礼状)	橋立酒谷新吉→酒谷長作	大正2年10月7日	0167	
0927	書翰(手形の割引の件)	末富孝治郎→酒谷長作	大正2年10月7日	0172	
0928	書翰(近況報告と甘納豆のお礼)	酒谷長蔵他→酒谷父上	大正2年10月8日	0147	221
0929	書翰(水田畑地購入代金貸与の依頼)	小樽呉比長七→酒谷長作	大正2年10月13日	0171	
0930	書翰(虎吉丸船長助六より手当送金受取の件)	橋立酒谷新吉→酒谷長作	大正2年10月20日	0168	
0931	書翰(送物の礼と子供達の近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正2年10月21日	0145	
0932	封筒	末富孝治郎→酒谷長作	大正2年10月21日	0173	
0933	書翰(出帆困難状況報告)	石見浜田瀬戸嶋飯原方七浦丸岩松→酒谷長作	大正2年10月21日	1133	448
0934	書翰(大阪銀行定期継続の件等)	酒谷長一郎→酒谷長作	大正2年10月22日	0140	215
0935	書翰((カ)イヤマ)御印死亡の件)	酒谷小三郎宅→酒谷長作	大正2年10月22日	0164	
0936	中川米次郎証書関係(債権譲渡通知書等)	網走中川米次郎→酒谷小三郎他	大正2年10月23日	0962	345

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0937	書翰(粃粕、鯨の商取引の件等)	酒谷長一郎→酒谷長作	大正2年11月2日	0141	216
0938	書翰(約束手形の期日変更の件等)	末富孝治郎→酒谷長作	大正2年11月3日	0174	
0939	書翰(日向丸にてイカ塩辛宅送の件等)	江差久保彦一→酒谷長作	大正2年11月5日	0160	
0940	書翰(昆布受取り、七浦丸尾道入港の件)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正2年11月5日	0165	
0941	書翰(物品送付の礼と訴訟の件)	橋立増谷平吉→酒谷長作	大正2年11月6日	0149	223
0942	書翰(大阪綿会社より配当金入金の件等)	酒谷長一郎→酒谷長作	大正2年11月9日	0142	217
0943	利息勘定書(貸金に対する利息の状況)	→高田吉藏	大正2年11月13日	0933	301
0944	不動産競売関係(競落許可決定通知等)	浦河区裁判所→酒谷小三郎代理柴村丈助他	大正2年11月13日	0970	311
0945	書翰(息子の事件についての礼状)	小塩山岸重三郎→酒谷長作	大正2年11月16日	0153	227
0946	書翰(汽船購入の件等)	酒谷長一郎→酒谷長作	大正2年11月17日	0143	218
0947	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正2年11月17日	0166	
0948	書翰(礼状)	東京鈴木製油所鈴木弥兵衛→酒谷御主人	大正2年11月17日	0176	
0949	書翰(立替金猶予願)	末富孝治郎→酒谷長作	大正2年11月25日	0175	
0950	書翰(証人調べに対する経過)	西浜町西原商店→酒谷長作	大正2年11月28日	0109	71
0951	書翰(漁場係争問題に関し)	酒谷商店橋谷巳ノ吉 岡崎半治→東京山岸清一法律事務所方酒谷長作	大正2年11月29日	0110	72
0952	書翰(漁場係争問題関係)	船場町近藤多三郎→東京岸法律事務所方酒谷長作	大正2年11月29日	0111	73
0953	書翰(樺太漁場に関する係争公判状況報告)	函館近藤多三郎→東京岸法律事務所方酒谷長作	大正2年11月30日	0112	74
0954	書翰(漁場係争関係)	船場町近藤多三郎→東京蓬莱家方酒谷長作	大正2年12月3日	0113	75
0955	書翰(家族の近況報告)	酒谷長一郎内→東京蓬莱家旅館方酒谷長作	大正2年12月3日	0114	76
0956	書翰(漁場係争関連)	船場町五近藤多三郎→東京蓬莱家旅館方酒谷長作	大正2年12月3日	0115	77
0957	念証	室蘭山崎安太郎他→酒谷小三郎	大正2年12月5日	0960	343
0958	書翰(北海道内、凶作による窮民救済寄附金提出の要請書)	函館区役所内北海道区救済会地方委員長北守政直→酒谷長作	大正2年12月12日	0125	
0959	書翰(各銀行の利息調査依頼に対する回答)	大阪井上直蔵→酒谷長作	大正2年12月14日	0116	78
0960	書翰(手形等に関する事)	末広町北海道機械網株式会社出張所未富孝治郎→酒谷長作	大正2年12月15日	0117	79
0961	預金証(借金の受領書)	網走藤野清四郎→酒谷商店	大正2年12月16日	0922	290
0962	書翰(銀行金利等の件について)	大阪井上直蔵→酒谷長作	大正2年12月17日	0118	80
0963	書翰(挨拶)	酒谷小三郎宅→酒谷長作	大正2年12月18日	0119	81
0964	書翰(手当金支給に対するお礼等)	根室山口■吉→酒谷長作	大正2年12月20日	0120	82
0965	書翰(漁場係争事件判決等に関して)	小樽広谷順吉→酒谷長作	大正2年12月21日	0121	83
0966	書翰(貸付に関する件)	酒谷長一郎→酒谷長作	大正2年12月23日	0530	600
0967	書翰(漁場係争事件判決等に関して)	小樽広谷順吉→酒谷長作	大正2年12月26日	0122	84
0968	書翰(漁場係争事件判決等に関して)	末広町末富孝治郎→酒谷長作	大正2年12月27日	0123	85
0969	書翰(年金配当金の支給に対する謝辞等)	石川三ツ村西野清太郎→酒谷長作	大正2年12月29日	0124	86
0970	担保物件関係(借用証と担保物件に関して)	大畑村佐藤五郎松→酒谷小三郎	大正2年12月31日	0961	344
0971	ハガキ(年賀状)	斜里木谷商店→酒谷長作	大正3年1月1日	0126	
0972	ハガキ(年賀状)	根室内山■吉→酒谷長作	大正3年1月1日	0127	
0973	ハガキ(年賀状)	橋立■泉藤蔵→酒谷長作	大正3年1月1日	0128	
0974	ハガキ(年賀状)	増谷平作→酒谷長作	大正3年1月1日	0129	
0975	ハガキ(年賀状)	小樽佐藤一郎商店富田新太郎→酒谷長作	大正3年1月1日	0130	
0976	ハガキ(年賀状)	秋田土崎港竹長商店竹内長九郎→酒谷長作	大正3年1月1日	0131	
0977	ハガキ(年賀状)	小樽和田寛五郎→酒谷長作	大正3年1月1日	0132	
0978	ハガキ(年賀状)	大阪井上直蔵→酒谷長作	大正3年1月1日	0133	
0979	ハガキ(年賀状)	大聖寺町宇道石函力太郎→酒谷長作	大正3年1月1日	0137	

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
0980	ハガキ(年賀状)	東京村上海事々務所→酒谷長一郎	大正3年1月1日	0138	
0981	ハガキ(年賀状)	新居浜増谷平八→酒谷長作	大正3年1月4日	0134	
0982	書翰(近況報告)	長蔵 長英他→酒谷長作	大正3年1月8日	0519	589
0983	書翰(礼状、金利送金の件)	久保彦一→酒谷長作	大正3年1月9日	0525	595
0984	書翰(下船の件)	石川浜佐美三嶋岩松→酒谷長作	大正3年1月17日	0534	602
0985	書翰(七浦丸損益勘定の報告等)	酒谷長一郎→酒谷長作	大正3年1月25日	0524	594
0986	書翰(大阪電灯会社下半季配当金の件等)	大阪井上直蔵→酒谷長作	大正3年1月26日	0529	599
0987	書翰(礼状)	小塩田端半七→酒谷長作	大正3年1月26日	0533	601
0988	書翰(近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正3年1月27日	0518	588
0989	書翰(損害事件と購入船遅延の件等)	神戸橋谷船舶部出張所橋谷己之吉→酒谷長作	大正3年1月31日	0521	591
0990	ハガキ(年賀状)	橋立島崎學而→酒谷長作	大正3年1月	0135	
0991	書翰(カムチャツカ漁場権利買受の件)	酒谷長一郎→酒谷長作	大正3年2月2日	0523	593
0992	ハガキ(損害事件と購入船遅延の件等)	神戸橋谷船舶部出張所橋谷己之吉→酒谷長作	大正3年2月9日	0522	592
0993	金銭貸借関係書類(金銭貸借に関する件等)	久保彦一→酒谷長作	大正3年2月12日	0528	598
0994	書翰(カムチャツカ漁場仕込金の件、酒谷小三郎小松中学校の件)	岡崎半治→酒谷長作	大正3年2月13日	0527	597
0995	ハガキ(鱈の子味噌煮送り状)	久保彦一→酒谷長作	大正3年2月15日	0526	596
0996	書翰(購入船入港と大審院判決)	神戸橋谷船舶部出張所橋谷己之吉→酒谷長作	大正3年2月16日	0520	590
0997	ハガキ(小包のお礼状)	江差久保彦一→酒谷長作	大正3年2月19日	1072	389
0998	書翰(事件についての注意)	神戸橋谷船舶部出張所橋谷己之吉→酒谷長作	大正3年3月17日	1074	391
0999	書翰(漁場および諸事報告)	小塩岡崎半治→酒谷長作	大正3年3月19日	1075	392
1000	ハガキ(商用連絡通知)	能登郡三嶋岩松→御主人	大正3年3月21日	1076	393
1001	ハガキ(塩代金等について)	江差久保彦一→酒谷長作	大正3年3月23日	1077	394
1002	書翰(東京控訴院事件関係)	相州逗子岸清一→酒谷長三郎	大正3年3月26日	1073	390
1003	ハガキ(卒業と進路の近況報告)	はし立酒谷長二→酒谷長作	大正3年3月26日	1078	395
1004	書翰(法要御案内)	西浜町小川又作→酒谷長作	大正3年3月26日	1079	396
1005	書翰(孝輔小松中学校退学問題の件)	小塩岡崎半治→酒谷長作	大正3年4月4日	1081	398
1006	書翰(惇仁太郎の件について)	安宅町山田志よん→酒谷長一郎	大正3年4月5日	1082	399
1007	書翰(中学校問題について相談)	福井名和屋旅館方岡崎半治→酒谷長作	大正3年4月6日	1083	400
1008	書翰(結婚披露宴案内)	橋谷己之吉→酒谷長作	大正3年4月7日	1084	401
1009	ハガキ(廻船予定の件につき)	岩松→市山久商店方七浦丸新吉→酒谷長作	大正3年4月7日	1085	402
1010	火災保険証券(建物に対する保険)	大阪火災海上運送保険株式会社社長右近権左衛門→松田与三郎	大正3年4月9日	1055	
1011	ハガキ(延焼御見舞)	大阪井上直蔵→酒谷長作	大正3年4月9日	1086	403
1012	書翰(孝輔の学校問題について)	小塩村岡崎半治→酒谷長作	大正3年4月9日	1087	404
1013	書翰(学校紹介依頼)	小塩岡崎半治→酒谷長作	大正3年4月10日	1088	405
1014	書翰(貸附御願について)	小樽呉比長七→酒谷長作	大正3年4月11日	1089	406
1015	書翰(大火御見舞並に近況報告)	酒谷長一郎内→酒谷長作	大正3年4月12日	1090	407
1016	書翰(近況報告と大火御見舞)	石川浜佐美三嶋岩松→酒谷長作	大正3年4月12日	1091	408
1017	書翰(商用および近況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	大正3年4月13日	1092	409
1018	家屋売渡証(網走高田善吉所有家屋売買の件)	網走高田善吉→柴野丈助	大正3年4月15日	0919	287
1019	書翰(病気全快御見舞お礼)	東出長四郎→酒谷長作	大正3年4月	1080	397
1020	書翰(貸金月賦回数一任の件)	橋立村酒谷長作→酒谷商店	大正3年6月14日	0980	321
1021	変酒勘定書	岩見沢佐藤商店→小樽松田商店	大正3年8月19日	1050	269
1022	決定書ノ謄本(酒谷孝輔の親族会員選定の件)	小塩酒谷イヨ→酒谷長作	大正3年8月24日	0639	241
1023	電話番号加入変更関係書類	函館郵便局長福島綿次郎→酒谷小三郎	大正3年9月28日	0965	348
1024	電話譲渡証	東浜町田辺顕夫→酒谷小三郎	大正3年9月29日	0631	233
1025	書翰(差引報告と久保彦作証書の件)	橋立村酒谷長作→酒谷商店	大正3年11月8日	0979	320
1026	書翰(債務返済遅延に対する詫状)	香深港吉田謙太郎→小樽松田商店	大正3年12月6日	1040	
1027	札幌製粉会社契約書(製麺売買契約)	札幌製粉株式会社取締役社長吉水寅貳郎→	大正3年12月20日	0934	302
1028	封筒		大正3年	1012	
1029	封筒	近藤→酒谷	大正3年	1093	

No.	資料名(内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
1030	並送金申込書(定期預金の利息について)	株式会社北海道拓殖銀行函館支店→	大正3年	1094	17
1031	差引書(取引勘定元帳写)	酒谷商店→松田与三郎	大正4年1月15日	1056	
1032	松田商店用箋(残金返済関係について)	酒谷小三郎後見人酒谷長作代理人宮坂清造→松田与三郎	大正4年1月19日	1049	268
1033	松田商店用箋(債権譲渡領収書の写し)	酒谷小三郎後見人酒谷長作代理人宮坂清造→松田与三郎	大正4年1月19日	1052	271
1034	松田商店用箋(畑地の権利書および委任状の受領書)	松田与三郎→酒谷商店代理宮坂藤吉	大正4年1月20日	1047	266
1035	郵便物受領証	小樽松田与三郎→イナホ町五十嵐由太他	大正4年1月20日	1065	
1036	郵便物受領証	小樽松田与三郎→永井良造他	大正4年1月20日	1066	
1037	書翰(担保該当物件火災の件等)	小樽松田与三郎→酒谷長作	大正4年1月20日	1069	275
1038	郵便物配達証明書(郵便受取人別村松田明治郎)	→小樽松田与三郎	大正4年1月21日	1057	
1039	郵便物配達証明書(郵便受取人イナホ町川崎保■)	小樽郵便局→イナホ町松田与三郎	大正4年1月21日	1058	
1040	郵便物配達証明書(郵便受取人留萌本間理三)	留萌郵便局→小樽松田与三郎	大正4年1月21日	1059	
1041	郵便物配達証明書(郵便受取人留萌町(マルコ)佐野商店)	留萌郵便局→小樽松田与三郎	大正4年1月21日	1061	
1042	感謝状(大正3年4月8日函館区大火罹災者救済費寄附に対して)	北海道庁長官西久保弘道→酒谷商店	大正4年1月22日	0692	
1043	郵便物配達証明書(郵便受取人別村遠藤酒造)	→小樽松田与三郎	大正4年1月22日	1060	
1044	ハガキ(郵便物配達証明書)	天塩鬼鹿村五十嵐きん→小樽松田与三郎	大正4年1月23日	1054	
1045	郵便物配達証明書(郵便受取人天塩・鍛冶外次郎)	天塩郵便局→小樽松田与三郎	大正4年1月23日	1063	
1046	郵便物配達証明書(郵便受取人東京府下戸塚村宮下甚吉)	牛込郵便局→小樽松田与三郎	大正4年1月24日	1062	
1047	松田商店用箋(債権に対する弁済保証書)	小樽松田与八→酒谷商店	大正4年1月27日	1053	272
1048	松田商店用箋(取引各店の変酒状況の件)		大正4年1月	1042	260
1049	松田商店用箋(戻酒勘定の件)	小樽松本兄弟商店→	大正4年1月	1046	265
1050	松田商店用箋(変酒勘定の件)		大正4年1月	1048	267
1051	郵便物受領証	小樽松田与三郎→香深吉田謙太郎他	大正4年1月	1064	
1052	松田与三郎債権譲渡関係(松田与三郎債権譲受金を宮坂清造へ支払い要請)	酒谷商店→小樽牧田多作他	大正4年2月6日	1068	274
1053	念証(借財返済に関する念書)	→酒谷小三郎	大正4年2月	0925	293
1054	計算書・仕切書	豊川町谷藤商店→中宮六蔵	大正4年3月8日	0852	326
1055	樺太産ノ粕関係(仕切関係書類)	富岡町中谷音彌商店→中宮六蔵	大正4年4月12日	0853	327
1056	金銭出入明細書類	富岡町中谷音彌商店→中宮六蔵	大正4年4月16日	0984	325
1057	配当要求申立に関する書類(有体動産仮差押調書謄本等)	柴田丈助他→上湧別村氏橋源吉他	大正4年5月11日	0638	240
1058	賃貸借契約書(干場の賃貸借契約書)	幌泉村守田重正→酒谷小三郎	大正4年7月1日	0920	288
1059	公正証書(金円貸借契約証書謄本)	会所町公証人横山吉四郎→松山喜市	大正4年7月15日	0938	306
1060	証書(支出額確認証書)	公証人横山吉四郎→梅津福次郎他	大正4年7月16日	1070	276
1061	裁判関係書類(供託書還付願等)	函館区裁判所裁判所書記村岡中吉他→酒谷小三郎他	大正4年11月19日	0910	279
1062	有体動産假差押調書	函館区裁判所執達支間山慶次郎代理荒木重太郎→酒谷小三郎	大正4年12月2日	0915	283
1063	松田与三郎債権譲渡関係(債権譲渡証書等)	小樽松田与三郎他→酒谷小三郎他	大正4年12月4日	1067	273
1064	契約書(製品販売に関するもの)	増田増蔵小樽出張店→酒谷小三郎	大正5年1月1日	0643	245
1065	石油及軽油売買契約書(日本石油(株)との契約書)		大正5年4月4日	0985	
1066	委任状関係	矢坂惣七→酒谷出張所	大正5年10月2日	0940	308
1067	実費計算書(諸経費内訳)	矢坂惣七→	大正5年10月3日	0939	307
1068	金円借用関係	留萌本間理三他→酒谷小三郎他	大正5年12月18日	0642	244
1069	催告状(内容証明書控)	酒谷小三郎→福島村西田鉄次郎	大正6年1月13日	1009	386
1070	書翰(土地売買の件)	紋別島井商店→酒谷商店	大正6年2月21日	0634	236

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
1071	契約書(帝国鋳泉(株)の商品売買に関して)	東京帝国鋳泉株式会社専務取締役 中谷製治代岸禮一→	大正6年5月16日	1032	
1072	借用書関係	佐井村借用人宮木元三郎連帯人宮 木よゑ他→酒谷小三郎	大正6年6月17日	0963	346
1073	石油及軽油売買追加契約書(日本石 油(株)との契約書)		大正6年8月1日	0977	318
1074	印鑑証明書	→酒谷小三郎	大正6年11月12日	0651	
1075	書翰(登記証等の送付通知)	旭川吉竹商店方矢坂惣七→小樽酒 谷出張所	大正6年11月13日	0936	304
1076	証(白米代金領収書)	西浜町西原商店→酒谷商店	大正7年1月9日	0630	232
1077	売上荷物預証・借用証綴	加賀若杉吉松→酒谷商店	大正7年2月17日	0647	249
1078	契約書(帝国鋳泉(株)製造のサイ ダー類の売買取引に関して)	東京帝国鋳泉株式会社専務取締役 中谷製治代岸禮一→酒谷商店	大正7年3月28日	1028	
1079	書翰(焼酎売渡契約書)	東雲町合名会社小森商店→酒谷商 店	大正8年2月13日	0921	289
1080	領収証(小林興三郎との事件の訴訟 印紙代)	会所町弁護士佐々木文治事務所→ 酒谷小三郎	大正8年7月14日	0316	
1081	領収証(小林興三郎間事件の着手手 数料)	会所町弁護士法学士佐々木文治事 務所→酒谷小三郎	大正8年7月14日	0317	
1082	決定通知書(過料決定通知書)	函館地方裁判所民事部裁判長判事 木村→酒谷小三郎	大正9年2月6日	0974	315
1083	借用証書(函館製油(株)創立費借 用証書)	函館製油株式会社創立主唱者天谷 太郎→酒谷商店	大正9年6月	0978	319
1084	守田勝美登記証関係資料(海産干場 関係)		大正9年9月22日	0971	312
1085	試算表・損益表		大正9年	0648	
1086	試算表	函館煙草元賣捌所→	大正9年	1022	
1087	試算表	函館煙草元賣捌所→	大正9年	1023	
1088	辰馬関係書類(遊覧旅行経費関係)	兵庫西宮町銘酒白鹿醸造元辰馬本 家商店→岡崎半治	大正10年2月13日	1251	
1089	領収書類	→酒谷	大正10年4月6日	0976	317
1090	伊勢詣関係書類	→酒谷商店	大正10年4月9日	1024	
1091	領収書綴		大正10年4月16日	1011	
1092	辰馬関係書類(遊覧旅行経費に関し て)	本辰酒造株式会社→酒谷商店宮野 三太郎	大正10年4月20日	1250	786
1093	辰馬関係書類(遊覧旅行経費に関し て)	合資会社酒谷商店宮野→	大正10年4月30日	1232	
1094	辰馬関係書類	辰馬本家商店本辰酒造株式会社→ 酒谷商店	大正10年5月5日	1261	796
1095	辰馬関係書類(遊覧旅行経費に関し て)	合資会社酒谷商店→	大正10年5月13日	1231	
1096	辰馬関係書類(関東関西遊覧旅行に 関する書類)	辰馬本家商店本辰酒造株式会社→ 酒谷商店	大正10年5月24日	0353	
1097	立教開宗七百年紀念法要法名登録の 証(法名釋尼恵海(五代目酒谷小三 郎の実母))	函館別院寺→酒谷小三郎	大正12年9月10日	0649	
1098	保管金受領証書(執達吏予納金)	浦河区裁判所取扱主任官裁判所書 記→山田二太郎	大正12年11月5日	0346	
1099	保管金受領証書(執達吏予納金)	浦河区裁判所取扱主任官裁判所書 記中村秀一→山田二太郎	大正12年12月24日	0345	
1100	仮記(砂糖商問屋組合加入金)	末広町小島商店→酒谷	大正13年2月16日	0360	
1101	当座勘定受入票	株式会社安田銀行函館支店→酒谷 商店	大正13年7月14日	0351	
1102	当座勘定受入票	株式会社安田銀行函館支店→酒谷 商店	大正13年7月17日	0350	
1103	配当要求申立書(石油委託販売代金 の要求申立書)	仲浜町スタンダード石油会社代理 店同盟組合奈良直太郎→浦河区裁 判所執達史役場	大正13年10月20日	0924	292
1104	当座勘定入金票	株式会社百十三銀行弁天町支店→ 酒谷商店	大正13年10月21日	0310	
1105	配当要求申出書(久保彦助提出)	浦河区裁判所→酒谷小三郎	大正13年10月28日	0956	339
1106	当座勘定受入票	株式会社安田銀行函館支店→酒谷 商店	大正13年10月29日	0352	
1107	当座勘定受入票	株式会社安田銀行函館支店→酒谷 商店	大正13年11月10日	0349	
1108	当座勘定入金票	株式会社百十三銀行弁天町支店→ 酒谷商店	大正14年1月21日	0366	
1109	当座勘定入金票	株式会社百十三銀行弁天町支店→ 酒谷商店	大正14年1月27日	0304	

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
1110	当座勘定入金票	株式会社百十三銀行弁天町支店→酒谷商店	大正14年1月31日	0307	
1111	当座勘定入金票	株式会社百十三銀行弁天町支店→酒谷商店	大正14年2月4日	0306	
1112	当座勘定入金票	株式会社百十三銀行→酒谷商店	大正14年3月7日	0309	
1113	当座勘定入金票	株式会社百十三銀行弁天町支店→酒谷商店	大正14年5月19日	0367	
1114	輸出免状(酒類輸出免状)	木村多吉他→酒谷小三郎	大正14年6月26日	0955	338
1115	当所代金取立手形(支配人三輪升次郎依頼人酒谷商店)		大正14年7月28日	0347	
1116	当所代金取立手形(支配人白井商店依頼人酒谷商店)		大正14年7月28日	0348	
1117	当座勘定入金票	株式会社百十三銀行弁天町支店→酒谷商店	大正14年8月25日	0308	
1118	会計報告・基金報告(西浜町内会の年度会計報告と基金報告)	西浜会→酒谷商店	大正15年1月21日	0650	
1119	西濱会会員名簿(大正13年1月現在34名分)		大正15年1月	1036	
1120	売極約定証	西浜町西原商店→酒谷商店	大正15年4月6日	1033	
1121	酒谷商店倉庫格納品目録(酒谷商店倉庫に格納した北樺太石油(株)の預り品目録書)		大正15年11月16日	0958	341
1122	転勤通知書(函館出張員交替の通知案内)	三井物産株式会社小樽支店長高橋茂太郎→酒谷商店	昭和2年2月	0315	
1123	当座勘定入金票	株式会社第一銀行函館支店→酒谷商店	昭和2年6月27日	1020	
1124	納品書	西浜町久保支店→酒谷	昭和2年7月23日	1019	
1125	貸借損益対照計算表	合名会社函館塩販賣所→	昭和2年7月	1031	
1126	褒状(恩賜財団済生会寄附)	北海道庁長官沢田牛磨→酒谷小三郎	昭和2年9月19日	0696	
1127	書翰(定期貯金期日延長と利息交渉の件)	橋立村酒谷長作→酒谷商店	昭和3年6月19日	0981	322
1128	ハガキ(函館商工会議所議員の推薦)	推薦者平塚常次郎坂本作平→恵比須町渡辺商店	昭和3年10月18日	0343	
1129	送状(分蜜糖50袋)	三井物産株式会社函館出張員受渡掛→酒谷商店	昭和4年2月28日	1018	
1130	褒状(日本赤十字社北海道支部事業費寄附に対し)	北海道庁長官池田秀雄→酒谷小三郎	昭和5年12月11日	0697	
1131	感謝状(日本赤十字社への寄附に対し)	日本赤十字社社長公爵徳川家達→酒谷小三郎	昭和5年12月26日	0694	
1132	書翰(十二銀行定期、安田銀行の利子について)	酒谷長作→酒谷商店	昭和7年6月14日	1010	387
1133	函館商工会議所所有権者名簿(昭和7年7月1日現在調)		昭和7年7月1日	0517	
1134	函館商工会議所所有権者名簿(昭和7年7月1日現在調)		昭和7年7月1日	0652	
1135	商工会議所議員選挙書類(総会開催の通知)	函館商工組合連合会会長齋藤栄一郎→	昭和7年9月20日	0319	
1136	議員当選通知と議員候補者名簿	函館商工組合連合会会長齋藤栄一郎→酒谷	昭和7年10月12日	0324	
1137	商工会議所議員選挙書類(立候補者甲合事項)	函館商工組合連合会選挙事務所→	昭和7年10月15日	0320	
1138	人名書上(選挙取纏めか)	斉藤五一郎→斉藤勝治	昭和7年10月15日	0509	
1139	雑貨商組合承諾書(函館商工会議所議員候補者関係)		昭和7年10月15日	1029	
1140	商工会議所議員選挙書類(選挙事務所開設の知らせ)	委員長齋藤栄三郎→	昭和7年10月17日	0321	
1141	函館商工会議所議員選挙関係資料		昭和7年10月19日	0510	
1142	登記簿抄本	函館区裁判所判事井上敏夫	昭和7年10月22日	0929	297
1143	商議選挙関連書類(商議選挙費内訳等)		昭和7年10月24日	1038	
1144	御祝品受先届先名簿(函館商工会議所議員当選に関して)		昭和7年10月29日	0973	314
1145	立候補御挨拶状(函館商工会議所議員改選に伴う立候補の挨拶)	函青汽船株式会社取締役代表者堀文吉→	昭和7年10月	0323	
1146	商議選挙関連(買物代請求書)	→酒谷	昭和7年10月	1039	
1147	函館酒類雑貨商組合規約及人名録	函館酒類雑貨商組合→	昭和7年	0508	

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
1148	人名書上(選挙取纏めか)		昭和7年	0511	
1149	人名書上(選挙取纏めか)		昭和7年	0512	
1150	人名書上(選挙取纏めか)		昭和7年	0513	
1151	人名書上(選挙取纏めか)	→酒谷商店	昭和7年	0514	
1152	人名書上(選挙取纏めか)	古谷菓子店他→	昭和7年	0515	
1153	人名書上(選挙取纏めか)	天間他→	昭和7年	0516	
1154	趣意書(奉賛会賛条裏趣意書)		昭和8年12月	0359	
1155	第九師団召魂社奉賛会讀裏趣意書		昭和8年12月	1035	
1156	感謝状(函館地方防空兵器献納寄附)	函館市長斉藤与一郎→酒谷小三郎	昭和13年11月8日	0693	
1157	囑託状(厳島神社祭典委員)	厳島神社→酒谷商店	昭和16年5月31日	0691	
1158	白山塾概要(紀元二千六百年記念石川県修錬道場白山塾建設について)	白山塾内編輯兼発行者高林清作→	昭和17年10月15日	1025	
1159	ハガキ(石川県修錬道場白山塾の落成式案内)	石川県知事田中重之→	昭和17年10月19日	1026	
1160	感謝状(戦没者遺族函館母子寮建設資金寄付)	函館市長登坂良作→酒谷商店	昭和18年12月11日	0695	
1161	書翰(保険金領収証に関する事)	樺太東海岸シララカ村小川富治→酒谷長作	明治年6月23日	1296	819
1162	封筒	酒谷→末富	明治年7月6日	1284	
1163	書翰(道具の注文に対する返答)	東浜町函館船具合資会社→酒谷	明治年11月2日	1223	769
1164	ハガキ(船の運航状況)	大阪在七浦丸岩松→御主人	明治年11月13日	1131	446
1165	封筒		明治	0290	
1166	辰馬関係書類		明治	1260	795
1167	委任状・請求書(函館船渠株式名義書換請求書)	函館船渠株式会社株式→酒谷	明治	1374	
1168	書翰(結婚式の案内状)	函館船具合資会社加藤と吉→酒谷長作	大正年11月27日	0179	
1169	銀行振込用紙(為替手形金等に対する延滞利息)	株式会社第三銀行函館支店→	大正	0311	
1170	封筒		大正	1027	
1171	書翰(近況報告)	酒谷内→長作	1月16日	0470	572
1172	書翰(七浦丸処分の件)	小塩橋本五作→御主人	2月22日	0467	569
1173	書翰(滞函御見舞)	酒谷イヨ→御主人	4月12日	0477	579
1174	書翰(呉比九作および弟子見習解雇に伴う慰労金の打合せ等)	酒谷方岡崎半治→酒谷長作	4月20日	0151	225
1175	内務大臣演述要領		5月9日	0714	
1176	書翰(軍事公債の件)	江差久保彦一→長作	6月2日	0285	
1177	田中尼古来斬克差引(品代等書上)	田中尼古来斬克→	6月7日	1311	828
1178	書翰(釋尼妙映壺周忌の招待状)	浜崎治助→酒谷長作	6月13日	0986	
1179	封筒	船場町近藤孫三郎→酒谷長作	6月15日	0298	
1180	書翰(公債返済延期の件)	江差久保彦一→酒谷長作	6月17日	0293	
1181	書翰(山田多吉出金の件)	船場町近藤孫三郎→酒谷長作	6月19日	0200	
1182	書翰(商況および近況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	6月28日	0707	721
1183	書翰(貸付のお礼、小切手送付の件)	江差久保彦一→酒谷長作	6月29日	0189	253
1184	書翰(身欠欠を受取りの件)	(チカ ^イ ヤマ)内→長作	6月29日	0701	715
1185	書翰(近況報告)	(チカ ^イ ヤマ)→長作	6月29日	0706	720
1186	書翰(七浦丸関係証書紛失の件)	岩谷甚左衛門→酒谷長一郎	6月29日	0730	732
1187	書翰(商況報告)	七浦丸岩松→御主人	7月1日	0709	723
1188	書翰(本院再建に伴う起工式への案内状)	大谷派函館別院事務所→酒谷長作	7月1日	1001	
1189	封筒	大町忠谷久五郎商店→酒谷長作	7月8日	1347	
1190	書翰(商況および近況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	7月9日	0705	719
1191	書翰(釋尼貞玄13回忌法要の案内)	三輪竹次郎→酒谷長作	7月9日	0988	
1192	書翰(近況報告)	(ワチカ ^イ)イヨ→若旦那	7月10日	0733	735
1193	書翰(恩賜財団済生会設立の件)	西野浩三郎→酒谷小三郎	7月11日	1242	778
1194	書翰(子供の近況報告)	(チカ ^イ ヤマ)内→長作	7月16日	0704	718
1195	書翰(近況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	7月17日	0703	717
1196	書翰(法要の案内について)	浜崎利作→酒谷長作	7月17日	0727	730
1197	封筒	酒谷→増谷祐二	7月20日	0180	
1198	書翰	水谷市松→御主人	7月22日	1354	834
1199	書翰(配当に関する件と近況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	7月23日	0702	716
1200	書翰(借入金利子と返済期間の覚書)	久保彦一→酒谷長作	7月29日	0708	722

No.	資料名(内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
1201	書翰(商況および近況報告)	酒谷長一郎→酒谷長作	7月29日	0710	724
1202	書翰(借入金返済の件)	久保彦一→酒谷長作	7月29日	0712	726
1203	封筒	青柳町板倉金太郎→宮本源吉	8月10日	1341	
1204	書翰(商い連絡とお暇願ひ)	七浦丸岩松→御主人	8月26日	1353	833
1205	書翰(約束手形歩合勘弁のお願い)	地蔵町荻野清六→酒谷長作	8月31日	0672	698
1206	書翰(小切手減率のお願い)	地蔵町荻野清六→酒谷長作	9月1日	0671	697
1207	書翰(借用残金の証明の送付)	久保彦一→酒谷長作	9月4日	0381	
1208	書翰(現金と小切手に関する通知)	末富高次郎→酒谷長作	9月6日	1364	
1209	書翰(舌代)	久保彦助→酒谷長作	9月8日	0158	
1210	書翰(口上)	久保彦助→酒谷長作	9月8日	0159	
1211	書翰(病氣療養説得依頼)	久保彦一→酒谷長作	9月13日	0371	144
1212	書翰(借金願)	末富孝治郎→酒谷長作	9月19日	1300	823
1213	封筒	酒谷長作→東出長四郎	10月21日	1186	
1214	書翰(五島軒にて結婚披露宴の案内)	久保彦助→酒谷長作	11月10日	0161	
1215	書翰(松田商店債務返済遅延の件)	吉田謙太郎→松田	11月14日	1044	263
1216	ハガキ(書留同封の為換券壱通の請書)	大阪井上直蔵→酒谷長作	11月25日	1189	738
1217	地代金支払書類	武蔵野支店→酒谷	11月30日	1303	826
1218	領収書等(函館要塞病院有功牛乳受取願書等)	→酒谷等	11月31日	1322	830
1219	書翰(塩運搬船沈没保険金受領の件)	久保彦一→酒谷長作	12月5日	1143	458
1220	書翰(全快祝通知)	平出喜三郎→酒谷長作	12月6日	1096	411
1221	書翰(借入金返済の件)	黒川治助他→酒谷	12月6日	1107	422
1222	書翰(大村書翰の回覧について)	仲浜町山本己之助→酒谷	12月9日	0607	661
1223	領収書(子供帽子2個)	(カネリ)洋物店→	12月18日	0502	
1224	書翰(釋尼妙信13回忌法要の案内)	小川彌四郎→酒谷長作	12月20日	0987	
1225	書翰	根室山■吉→酒谷長作	12月25日	0584	
1226	書翰(土地譲渡に関する依頼)	蓬莱町帝國公債信託株式会社北海道支部→酒谷小三郎	18日	1006	
1227	封筒			0006	
1228	封筒			0007	
1229	封筒	函館馬車鉄道株式会社→酒谷長一郎		0008	
1230	電報(「ヨキテイトアルカネヲダシニワイカガソウダンニツイデニナ」)	ナカカワ→酒谷長作方マサヤ		0009	479
1231	電報(「イイカガヘンセウラヒウチニツム」)			0014	484
1232	封筒	西浜町川上与左右衛門商店→		0037	
1233	ハガキ(年賀状)	大聖寺町牧野病院内萬谷藤市→酒谷長作		0136	
1234	封筒	近藤→酒谷長作		0178	
1235	封筒	岩崎岩次郎商店→御主人		0181	
1236	封筒			0183	
1237	封筒	江差久保彦一→酒谷長作		0184	
1238	封筒			0211	
1239	封筒	東浜町株式会社第三銀行函館支店→酒谷長作		0212	
1240	封筒			0213	
1241	封筒			0220	
1242	封筒	酒谷商店→		0230	
1243	封筒			0279	
1244	封筒			0280	
1245	書翰(挨拶)	仲浜町平出喜三郎→酒谷長作		0284	
1246	封筒	大井熊吉→酒谷長作		0299	
1247	当座勘定入金票	株式会社百十三銀行弁天町支店→酒谷商店		0305	
1248	商工会議所議員推薦者用紙			0312	
1249	商工会議所議員推薦者用紙			0313	
1250	商工会議所議員推薦者用紙			0314	
1251	商工会議所議員選挙書類			0318	
1252	商工会議所議員選挙書類(公認候補者名簿)	酒谷商店→		0322	
1253	函館商事合資会社			0325	

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
1254	商工会議所議員立候補推薦者用紙 (候補者増野清次郎)			0326	
1255	工場内御縦覧券	堀川町・千代ヶ岱町函館商事合資 会社→		0327	
1256	商工会議所議員立候補用紙(候補者 黒田久)			0328	
1257	商工会議所議員立候補推薦者用紙 (候補推薦者吉岡■)			0329	
1258	商工会議所議員立候補推薦者用紙 (候補推薦者竹林由次郎)			0330	
1259	商工会議所議員立候補推薦者用紙 (候補推薦者小林悦郎)			0331	
1260	商工会議所議員立候補推薦者用紙 (候補推薦者田畑金次郎)			0332	
1261	商工会議所議員立候補推薦者用紙 (候補推薦者斎藤興吉)			0333	
1262	商工会議所議員立候補推薦者用紙 (候補推薦者山本末八)			0334	
1263	商工会議所議員立候補推薦者用紙 (候補推薦者吉田惣助)			0335	
1264	商工会議所議員立候補推薦者用紙 (候補推薦者西本ふみゑ地)			0336	
1265	商工会議所議員立候補推薦者用紙 (候補推薦者松本文治郎)			0337	
1266	商工会議所議員立候補推薦者用紙 (候補者推薦者小野慶吉)			0338	
1267	商工会議所議員立候補推薦者用紙 (候補推薦者菅原忠治)			0339	
1268	商工会議所議員立候補推薦者用紙 (候補推薦者瀬川悠吉)			0340	
1269	商工会議所議員立候補推薦者用紙 (候補者函青汽船株式会社)			0341	
1270	投票お願い(二十三日の投票は「和 田芳治郎」を)	函館米穀商同業組合→		0342	
1271	函館市復興記念式感謝状贈呈者芳名 録	函館川内印刷所→		0344	
1272	封筒	兵庫本辰酒造株式会社→		0354	
1273	証(金円受取証)			0355	
1274	名刺(タツノ式ガンソリン計量機製株 式会社東京龍野制作所)			0357	
1275	欠番				
1276	封筒			0361	
1277	取引申込書	株式会社安田銀行→		0362	
1278	パンフレット(砂糖を混ふるアナウ 発見土器)			0363	
1279	領収書綴	→酒谷		0364	
1280	納品書・通知書綴	→酒谷		0365	
1281	辰馬関係書類(砂糖を混ふるアナウ 発見土器)	合資会社酒谷商店→北野		0368	
1282	当座勘定受入票	株式会社安田銀行函館支店→酒谷 商店		0369	
1283	封筒			0390	
1284	金銭出納覚書			0491	
1285	坪単価書(一覧表)			0496	
1286	地籍図(西浜町測量土庫地)			0497	
1287	領収書綴			0498	
1288	書類雛形(借地証書雛形等)			0506	
1289	封筒	弁天町橋谷商店→酒谷且那		0531	
1290	封筒	東浜町函館船具合資会社→酒谷		0532	
1291	封筒			0557	
1292	未記入用紙			0558	
1293	封筒	末広町株式会社函館銀行→酒谷長 一郎		0688	
1294	書翰(田端半七貸金の件)	酒谷長一郎→酒谷長作		0711	725
1295	封筒	→山田竹次郎		0713	
1296	封筒	仲浜町株式会社函館塩販売所→酒 谷長作		0719	
1297	伝票関係綴	東京合名会社時事新報社→		0723	
1298	粕貫高書上			0724	729
1299	管理人御届			0725	

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
1300	漁業権に対する各種書類(漁業免許状書換申請書等)			0726	
1301	付属書類表示(樺太西海岸トマリボ)			0729	731
1302	利息計算書	仲広町株式会社函館塩販売所→酒谷長作		0732	734
1303	封筒			0736	
1304	封筒	函館浜根岸太郎→		0737	
1305	封筒	→橋谷商店		0832	
1306	封筒			0911	
1307	吉田差押費用関係書類(差押費用の内訳書)	執達吏函館区裁判所間山慶次郎→		0912	280
1308	相続関係書類(相続財産目録他)			0917	285
1309	保管証(網走町所在の木造家屋に関して)	網走高田善吉→酒谷商店		0918	286
1310	同意書(酒谷小三郎後見人酒谷長作選出に対して)	酒谷小三郎親族会員丹保佐八郎他→		0931	299
1311	封筒	近藤→酒谷		0941	
1312	封筒	近藤→酒谷		0942	
1313	西野頼太郎関係書類(海産干場面積等の明細)			0946	329
1314	西野頼太郎関係書類(海産干場面積等の明細)			0947	330
1315	西野頼太郎関係書類(海産干場に関するメモ)			0948	331
1316	西野頼太郎関係書類(借用証案文)	→酒谷小三郎後見人酒谷長作		0954	337
1317	勘定書	酒谷商店→米木六右衛門		0957	340
1318	委任状(幌泉汽船会社株券に関して)			0966	
1319	委任状(幌泉汽船会社株券に関して)	米田サヲ他→		0967	
1320	金円・石数書付			0968	309
1321	函館砂糖商問屋組合規約(案文)			0969	310
1322	漁場請負関係帳簿			0982	323
1323	金銭出入明細書類			0983	324
1324	封筒	酒谷商店→大庭彦平		0992	
1325	封筒	新居浜増谷ぬよ→酒谷長作		0996	
1326	封筒	東川町本願寺函館別院→		1005	
1327	契約証明書			1013	
1328	封筒	大成商事株式会社函館支店→酒谷商店		1014	
1329	封筒			1015	
1330	明治文化硬談軟話(石井研堂)			1016	
1331	領収書(未使用 宛名は株式会社第一銀行函館支店)			1017	
1332	契約証			1030	
1333	委任状用紙(網走町大字網走村字大曲一番地高田善吉の記名捺印あり)			1034	
1334	金額表	酒谷商店→		1043	261
1335	不動産価格及び売懸金等書上書			1045	264
1336	用紙(債務回収不可能分のメモ)			1051	270
1337	書翰(過金返却通知)	鶴岡町東出商店→酒谷		1095	410
1338	封筒	三輪竹次郎→酒谷長作		1164	
1339	書翰(近況報告)	チヨエ→オトウサン		1177	
1340	封筒			1187	
1341	紙片			1281	
1342	包装紙(粗品東出)			1282	
1343	覚書			1283	
1344	覚書(金銭覚書)			1285	
1345	覚書(金銭覚書)			1286	
1346	覚書(電報控え)			1287	
1347	書翰(小川所有船神祐丸修理の依頼)	→三沢萬之助		1293	818
1348	紀先生稽古日割			1299	822
1349	貸金書上(貸金返済状況)			1301	824
1350	金銭品物書上	酒谷商店→		1304	827
1351	封筒			1305	

「酒谷家資料」リスト

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
1352	封筒			1306	
1353	電報頼信紙			1316	
1354	貸附金早繰簿(明治36年度)	酒谷→		1319	
1355	風月堂廣告	末広町風月堂田村松五郎→		1320	
1356	包装紙(金森洋物店)			1323	
1357	封筒			1325	
1358	封筒			1329	
1359	樺太西海岸建網漁業水産組合関係書類(組合規則)	樺太西海岸建網漁業水産組合→		1330	
1360	名刺(反物藤井喜三郎)			1334	
1361	封筒			1335	
1362	熨斗	大町安田商店→		1336	
1363	熨斗			1337	
1364	封筒			1342	
1365	封筒	酒谷→平出		1343	
1366	封筒	西浜町日高汽船→		1344	
1367	封筒			1345	
1368	封筒	弁天町橋谷商店→酒谷旦那		1346	
1369	封筒	→酒谷長一郎		1348	
1370	覚書			1352	832
1371	株関係覚書			1355	835
1372	封筒	→大阪井上直蔵		1359	
1373	金巴貸借契約証の要項			1365	
1374	封筒			1366	
1375	封筒			1367	
1376	封筒			1368	
1377	封筒			1369	
1378	荷札	(ワカ'イ) 酒谷商店 知取出張所→ 函館市西浜町35 酒谷産業合資会社 帳簿御中	昭和	1378	
1379	感謝状(函館警察署廳舎の新築に建築資金を寄贈する)	函館警察署廳舎建築委員会 平塚常次郎 函館警察署長北海道廳警視 織田信知→合資会社 酒谷商店殿	昭和12年12月15日	1379	
1380	感謝状(函館警察署若松町巡査派出所の新築に建築資金を寄贈する)	函館警察署長 北海道廳警視 織田信知→酒谷小三郎殿	昭和12年12月23日	1380	
1381	感謝状(海軍将兵慰問ノ為、恤兵金を寄附する)	海軍大臣 米内光政→酒谷小三郎殿	昭和13年8月	1381	
1382	感謝状(北辺防空施設整備に献金する)	酒井部隊長陸軍中将 酒井鎬次 北海道庁長室 半井 清→酒谷小三郎殿	昭和14年8月5日	1382	
1383	感謝状(傷痍軍人北海道療養所建設に援助する)	傷痍軍人北海道療養所協賛会長 上村浩太郎→酒谷小三郎殿	昭和15年6月10日	1383	
1384	西海岸得意先帳尻残高(小樽支店ヨリ引継 昭和15年6月28日現在)	小樽支店ヨリ引継 昭和15年6月28日現在	昭和15年	1384	
1385	表彰状(多年の功績を表彰する)	大谷派函館別院現董 大谷瑩潤→肝煎 酒谷小三郎殿	昭和16年9月13日	1385	
1386	領収證書(司法保護事業資金を寄附)	函館市収入役 當作小一郎→酒谷小三郎殿	昭和16年11月1日	1386	
1387	感謝状(司法保護少年収容施設の建設に多大の支援をする)	函館和光學園→酒谷小三郎殿	昭和17年6月17日	1387	
1388	感謝状(石川縣修練道場白山塾建設資金を寄附する)	石川縣知事 田中重之→酒谷小三郎殿	昭和17年10月19日	1388	
1389	昭和7年度 第6號元帳(損益勘定合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	損益勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和7	1389	
1390	昭和10年度 第貳號元帳(市内地方人名勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	市内地方人名勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和10	1390	
1391	昭和10年度 第4號元帳(雑貨 合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	雑貨 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和10	1391	
1392	昭和10年度 金銭出納帳(合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和10	1392	
1393	昭和11年度 第1號元帳(諸口勘定合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	諸口勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和11	1393	

No.	資料名 (内容)	作成者→受取人	作成年代	収納	書下
1394	昭和11年度 第3號元帳 (地方得意先勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	地方得意先勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和11	1394	
1395	昭和11年度 金銭出納帳 (合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和11	1395	
1396	昭和11年度 総勘定元帳 (合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和11	1396	
1397	昭和12年度 第1號元帳 (諸口勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	諸口勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和12	1397	
1398	昭和12年度 第3號元帳 (地方得意先勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	地方得意先勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和12	1398	
1399	昭和12年度 第7號元帳 (損益勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	損益勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和12	1399	
1400	昭和13年度 第1號元帳 (諸口勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	諸口勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和13	1400	
1401	昭和13年度 第4號元帳 (商品勘定 油類 合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	商品勘定油類 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和13	1401	
1402	昭和13年度 第6號元帳 (假仕切勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	假仕切勘定 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和13	1402	
1403	昭和14年度 金銭出納帳 (合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和14	1403	
1404	昭和14年度 總勘定元帳 (合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和14	1404	
1405	昭和15年度 第4號元帳 (商品勘定 (油類) 合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	商品勘定 (油類) 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和15	1405	
1406	昭和16年度 第貳號元帳 (得意先勘定 市内現金 合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	得意先勘定 市内現金 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和16	1406	
1407	昭和16年度 第參號元帳 (得意先勘定 地方 合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	得意先勘定 地方 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和16	1407	
1408	昭和16年度 第4號元帳 (商品勘定 (油類) 合資会社 酒谷商店 大泊出張所)	商品勘定 (油類) 合資会社 酒谷商店 大泊出張所	昭和16	1408	
1409	月末仕拂帳 (昭和12年~17年 酒谷商店 大泊出張所)	昭和12年~17年 酒谷商店 大泊出張所	昭和17	1409	

市立函館博物館 研究紀要 第22号

2012年3月31日 発行

編集・発行 市立函館博物館

〒040-0044 函館市青柳町17-1 (函館公園内)

TEL 0138-23-5480 FAX 0138-23-0831

印刷 株式会社 島本印刷

〒040-0053 函館市末広町13-27

TEL 0138-26-1201 FAX 0138-26-0158

BULLETIN
OF
HAKODATE CITY MUSEUM

No. 22

CONTENTS

Preface

TOMO HARU HOSHINA: "Research into the documents of Sakaya"

Documents of Sakaya list

2012

Publisher : Hakodate City Museum

17-1, Aoyagi-cho, Hakodate, Hokkaido, Japan 040-0044

Phone 0138-23-5480 Fax. 0138-23-0831